

## 「第 2 期いきいき市民健康プラン後期計画」

### 令和 3 年度 事業実施報告

1. 仙台市の取り組み事業一覧 . . . . P. 1
2. 仙台市保健所支所の取り組み . . . . P. 27
3. 関係団体の取り組み . . . . P. 32



# 1. 仙台市の取り組み事業一覧

## 第2期いきいき市民健康プラン後期計画推進にかかる事業一覧（令和3年度 事業実施報告）

### 【重点分野1】未来の健康をつくる生活習慣病予防

#### 【1】学齢期からの生活習慣病予防、健康的な生活習慣を形成するための取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 学校との連携を図り、生活習慣病を予防するための望ましい生活に関する啓発を行う	①学校保健委員会への参加	健康課題の共有や、健康教育メニューの紹介。	・小学校13校、中学校3校の学校保健委員会へ参加	○	各区	家庭健康課 保健福祉課
	②児童・生徒とその保護者を対象に健康教育	児童・生徒の健康課題や、壮年期の健康課題に応じた内容の、健康教育を学校と連携して実施する。	・小学校3校（鶴谷東・田子・幸町南）の入学説明会にて保護者向け健康教育「早寝早起き朝ごはん」「むし歯予防について」を実施。保護者延148人参加。 ・保健体育の授業で小学校1校（鶴谷東）にて「飲み物の砂糖量について」を実施。児童68名参加。	○	宮城野区	家庭健康課
		・小学校1校、中学校1校の保健・保健体育の授業にて、「生活習慣病予防」をテーマに、健康教育を実施。児童105名、生徒100名参加。	○	若林区	家庭健康課	
	③学校保健関係者との懇談会	地域の健康課題や健康教育の実施状況等を共有、健康教育メニューの紹介。	・学校保健・地域保健懇談会を開催 事業説明及び小学校区別健康課題を共有 小学校養護教諭10人、区中央市民センター社会教育主事1人参加 ・懇談会事前アンケートにて、区内20校の健康課題について集約を行った。 ・区内12か所の小学校（原町・岩切・岡田・東仙台・宮城野・鶴谷東・蒸沢・柊江・鶴巻・田子・幸町南・西山）を訪問し、事業説明や健康課題の共有等を実施	○	宮城野区	家庭健康課
	④学校保健に関する懇談会を通しての情報発信	区内小中学校等の養護教諭や保健主事等を対象とした、学校保健に関する懇談会を開催し、地域の健康課題や健康教育の実施状況等を共有する。	・学校保健懇談1回	○	若林区	家庭健康課
	⑤秋保中学校区生活習慣改善部会への参加	管内幼稚園・小中学校の養護教諭等の会議へ参加し、管内の健康課題について共有し、今後の事業展開に活かす。	・3月参加（参加者：あきう幼稚園、秋保小学校、湯元小学校、馬場小学校、秋保中学校）	○	太白区	秋総保健福祉課
⑤健康教育媒体等の貸出	学校・幼稚園・保育所等へ、健康教育媒体（糖分媒体、歯科模型等）の貸出を行い、取り組みを支援する。	・幼稚園1施設へ糖分媒体貸出	○	太白区	秋総保健福祉課	
(2) 教職員への研修の実施等、学校における取り組みを推進する	①教職員・市民向けの研修	運動習慣・生活習慣・食習慣をテーマに仙台っ子健康セミナー（健康教育研修会）の開催。	・令和3年度は、運動習慣・生活習慣・食習慣をテーマに仙台っ子健康セミナー（健康教育研修会）を開催した		教育局	健康教育課
	②教職員向け保健指導資料の作成と活用推進	教職員向けに、保健指導資料を作成し、ホームページ・グループウェアに掲載。	・教職員向けに、保健指導資料を作成し、グループウェアに掲載した		教育局	健康教育課
(3) スポーツイベントを積極的に周知し、子どもの参加や体験につなげる	①情報の発信	運動情報に特化したホームページ「仙台スポーツ情報ナビ」や新聞折込情報誌を活用したスポーツ情報の提供。	・【新聞折込情報誌】河北ウィークリーに各スポーツ施設の情報を掲載 月1回×6ヶ月（4・9・11・12・1・2月） 月2回×4ヶ月（7・8・10・3月）		文化観光局	スポーツ振興課
(4) 肥満度の高い児童を対象に保健指導を実施する	①生活習慣病予防検査の事後措置	生活習慣病予防検査の結果について、学校医より指導助言をいただき、保護者へ連絡する。その際に、肥満についての資料を結果とともに配付する。	・生活習慣病予防検査の結果について、学校医より指導助言をいただき、保護者へ連絡。その際に、肥満についての資料を結果とともに配付		教育局	健康教育課
(5) 幼稚園・保育園と連携した児童・保護者への生活習慣病予防の啓発	①幼稚園・PTAと共催してのウォーキングイベント	重点地域において、幼稚園・PTAと連携し、区民会議メンバーの協力を得ながらウォーキングイベントを開催。	園児28名 保護者23名 参加		若林区	家庭健康課
	②子育て関係機関への啓発	健康課題の解決に向けて重点的に取り組む地域において、幼児期における健康課題の共有や生活習慣改善の啓発のポスターや媒体を作成し、子育て関係機関へ周知・配布を行う。	対象地域の子育て関係機関や医療機関等へ訪問し、地域の健康課題の実態と生活習慣改善に向けて作成したポスターを配布しながら健康課題の共有を図った。		若林区	家庭健康課
(6) 学齢期のその他の生活習慣病発症予防	①生活習慣病予防検査	小学校1・3・5年生、中学校1年生、高等学校1年生を対象に実施。	・小学校1・3・5年生、中学校1年生、高等学校1年生を対象に実施		教育局	健康教育課
	②市民センターや児童館と連携した健康教育	今後自立していく子どもたちと、見守る保護者を対象とし、健康的な生活習慣について家族で考える機会の提供や、健康づくりについての正しい知識の普及。	・福沢市民センターと共催で、小学1～2年生を対象とした運動講座 親子7組15人参加。		青葉区	家庭健康課
		学齢期の児童が、生活習慣病を予防するための望ましい生活習慣に関して周知啓発する。	・児童館1か所にて出前講座「めざせ！手洗いマスター！」を実施。児童26名参加。		宮城野区	家庭健康課
		児童館3館と連携し、生活習慣病予防に関する児童館だよりへの記事掲載、パネル展示、すぐろくの配布、イベントの開催を行う。	・すぐろく配布 3児童館 ・糖分パネル掲示 3児童館 ・〇×クイズイベント開催 3児童館 ・児童館だよりへの啓発記事掲載 4児童館		若林区	家庭健康課
		重点地域において、児童館と連携し「歯科」「栄養」「生活リズム」の各視点から小ワークショップを実施。	・3回実施 参加延11組	○	若林区	家庭健康課

	③若い世代の健康づくり	区内専門学校26校を対象に、健康づくりをテーマとしたニュースレターの発行を行う。また、専門学校の担当教員より課題や現状を聞き取りし、必要時健康教育や啓発資料の配布を実施する。 区内専門学校生を対象に子宮がん検診・20歳のデンタルケア検診・食育推進・心の健康づくり等に関する啓発を行う。	・ニュースレターの送付（年2回/7月・2月）：区内専門学校24校（2校閉校）、関係機関2か所 ・専門学校6校に対し年3回啓発媒体配布 検診啓発・食育推進・受動喫煙防止リーフレット		青葉区	家庭健康課
	④市民センターや児童館と健康課題に関する共有	地域の健康課題や健康教育の実施状況等を共有、健康教育メニューの紹介。	【区中央市民センターとの連携】 ・区中央市民センター社会教育主事との連携を図り、学校保健等へのアプローチについて相談及び事業の進捗について共有 【児童館との連携】 ・区内全20か所の児童館を訪問し、健康教育等の事業・健康教育メニューの紹介・宮城野区の健康課題について共有	○	宮城野区	家庭健康課

## 【2】 壮年期の生活習慣病発症予防、重症化予防の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 健診受診率向上を図る取り組みを行う	①特定健診の受診勧奨	国保加入者に対し、リーフレット、ハガキ送付及び電話等により受診勧奨を行う。	・40歳の国保加入者へのリーフレット送付 1,879人 ・未受診の国保加入者へのハガキ送付 74,868人 ・電話勧奨 15,225人		健康福祉局	保険年金課
	②健診体制の整備	国民健康保険加入者に対する特定健康診査、基礎健康診査と各種がん検診、各種節目検診、訪問健康診査、ホームレス結核検診、日本語学校留學生結核検診、身体障害者健康診査。	・特定健康診査受診者数 62,212人（42.7%）		健康福祉局	保険年金課
	③多様な手段を活用した、市民健診、特定健診の受診勧奨	市政だより、ホームページ、情報コーナー等を活用し、受診勧奨する。また、団体の会報なども活用して周知する。	・乳幼児健診会場にて保護者向け受診勧奨ポスターを設置 ・地区担当保健師・看護師が地域のサロン等に出向いた際、市民健診の申込・受診勧奨を実施 ・区民が、市民健診の申込案内をより身近に入手できるよう、区内郵便局・市民センター・コミュニティ・センター等に申込案内を配布。 ・子育て世代向けに、市民健診の周知を行えるよう、区内保育所にポスター、申込案内の設置を依頼。 【重点分野1-1-⑤再掲】 ・専門学校6校に対し子宮頸がんリーフレット配布		各区	家庭健康課 保健福祉課
	④ハイリスク者へ向けた特定健診等の受診勧奨(追加)	低所得者をハイリスク者として捉え、区保険年金課と連携し、健診受診の啓発を行う。	・区保険年金課窓口に健診受診勧奨のポスターを掲示		宮城野区	家庭健康課
	⑤健診受診率向上に向けた取り組み	健康づくりイベントや健康教育等での啓発を強化する。  35歳以上で健康状態が把握できていない生活保護受給者に対し、各生活保護担当課を通して市民健診の案内を送付する。また、同対象者に対し、基礎健診受診申込を促す勧奨通知を各区生活保護担当課から年1回送付する。	・民児協、関係機関、関係団体等の会議や健康教育等にて啓発 ・秋保地区町内会回覧板にて周知		太白区	秋総保健福祉課
(2) 事業所や被用者保険の医療保険者等との連携強化により、生活習慣病に関する情報を発信する	①各団体や事業所と連携した健康教育	消防団や組合等様々な団体等と連携して、健康教育を行う。  企業や組合等様々な団体等と連携して、健康教育を行う。	・コロナ禍での健康づくり講話や手洗い実習などの実施（商工会、旅館、東北電気保安協会など） 5回 217人参加 ・八木山動物公園（500組1,088人）と商業施設（60人）でウォーキングクイズラリーを実施	○	各区	家庭健康課 保健福祉課
	②衛生課と連携した健康教育	衛生課主催の衛生講習会への参加者を対象にした健康教育の実施。	・新型コロナウイルスの影響で、衛生講習会中止されたため実施できず ・組合加入店舗に市民健診の啓発ポスター、健康づくりに関するパンフレットを送付した。	○	各区	家庭健康課
	③健康づくり情報の発信	定期的に、事業所へ健康に関する情報を発信する。店舗等は、来店した客への情報発信もできる。	定期的健康づくり情報を提供(年12回) ・タクシー会社（区内の事業に賛同する会社）5社 ・理美容店（区内協力店）60店舗（6月まで61店舗） ・事業所(区内協力事業所) 2社 ・自動車学校 4か所	○	宮城野区	家庭健康課
(3) 歩きやすい、運動しやすい環境づくりを行い、身体活動量の増加を促す	①トワイライト・バス	夕方5時以降のトレーニング室、プール、軽運動場の利用定期券を発行し、仕事帰り等にもスポーツができる環境作り。	・利用者 延42,118人（令和4年3月末現在）	○	文化観光局	スポーツ振興課
	②マイタウンスポーツ活動の推進	地域スポーツ活動の充実を図り、市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりに取り組む。 (10/4(日)にスポーツイベントとして、市内スポーツ施設の無料開放や区毎にスポーツレクリエーションまつりを開催予定)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年スポーツの日に実施しているスポーツイベント「マイタウンスポーツデー」は中止。当該イベントの一部を11/23(火・祝)にスポーツ×食のイベントとして実施 58人参加 ・スポーツイベントとして、市内スポーツ施設の無料開放や区毎にスポーツレクリエーションまつりを開催 7,162人参加	○	文化観光局	スポーツ振興課
	③市民センターでの講座	各市民センターにおいて実施する健康維持・健康増進に関する講話や実技を通して、自分自身の健康づくりへの興味・関心を深め、実践していくきっかけ、実践等を学ぶ講座を開催する。	・38館で56事業実施し、延べ9,190人が参加		教育局	生涯学習支援センター
	④まちなか歩数表示	市民の健康の増進を図るため、地域団体や市民活動団体等が、歩くことの意識付けを行う啓発表示をすることに対する補助事業。	・2団体へ補助金交付 (YARVOG、八木山地区まちづくり研究会)	○	健康福祉局	健康政策課

		⑤歩こう動こう脱メタボプロジェクト	健康に関心が低い層を中心に、健康づくりに対する認識を高め、日常的に歩くことを定着させることを目的としたイベントを開催する。	・プロポーザルにて事業者選定、業務委託にて実施。 ウォーキングキャンペーン（スタンブラリー）総参加者690名 ・オンラインセミナー 視聴回数約6,500回 ・特設サイトの開設 アクセス数 16,137名			
		⑥ウォーキングマップの作成	多種のマップを作成し、ホームページからダウンロードして活用できる。ウォーキングマップの新規コース作成と改編および増刷。	・ウォーキングマップの新規コース作成と改編および増刷 (増刷：長町南～河原町周辺、薬師堂周辺、榴岡～新寺周辺) ・ウォーキングマップを活用したレッツ！健康ウォーキングの開催 2回 26人参加	○	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		⑦ウォーキングイベント	日常的に取り組みやすいウォーキングの正しい知識と技術を学ぶ機会を設けることで運動習慣の獲得につながる。	・区の学区民ウォーキングイベントと共催、幼稚園PTAを共催しウォーキングイベントを実施（計201名）		若林区	家庭健康課
		⑧せんだいスマート	公共交通の利用促進を働きかける取り組み（モビリティ・マネジメント）として、転入者を対象に市内の公共交通の利用を促すリーフレットを配布するほか、路線バス沿線の地域住民を対象にワークショップを行い、公共交通利用促進の機運を高める取り組みを実施する。	・転入者に対し、せんだいスマートリーフレットの配布（21,854部） ・鶴ヶ谷、川平地区にてワークショップを開催し、公共交通利用促進の動機付けを行う予定であったが、コロナの影響により不特定多数の人が集まるワークショップは開催せず地域の代表である町内会やPTAとの意見交換を行った。また、同地区の住民へアンケート調査を実施し現在の公共交通の利用状況や動機付けに活用するツール作成に向けた基礎状況を把握しツール等の作成を行った。	○	都市整備局	公共交通推進課
		⑨ストック活用型都市再生推進事業（リノベーションまちづくり）	公共空間の利活用による都心部のにぎわいづくりの取組を実施。 ・公共空間利活用イベントの後援 ・歩行者の回遊性を高めるための取組として、民間事業者のイベントで歩道内にベンチを設置する等社会実験の実施を支援	・コロナ禍の影響により、イベント的な取組は実施なし。	○	都市整備局	都心まちづくり課
		⑩まち再生・まち育て活動支援事業	地域主体のエリアマネジメントによるまちづくりを推進するため、公共空間の利活用や維持管理の実現に向けた検討・検証等の取り組み（公共空間利活用イベント等）を支援。	・your Kitchen：宮城野通（R2.6～R4.3 以降継続） ・akippa：駅東7号公園を駐車場として暫定利用（R3.4～） ・楽天ベンチ設置：宮城野通（R3.4～R4.3 以降継続） ・榴岡公園社会実験：榴岡公園（R3.9～R4.3） ・肴町公園社会実験：肴町公園（R4.1～R4.3） ・晩翠通におけるベンチ設置：晩翠通（R3.4～R4.3）	○	都市整備局	都心まちづくり課
		⑪市民のみどりに関する活動への参加の推進	緑の活動団体認定制度 市認定「緑の活動団体」が行う、緑の保全・創出・普及活動（自然観察会、森林散策等のイベント）への市民参加。 コミュニティガーデンづくり事業 （花壇づくり助成、花いっぱいまちづくり助成、ポケットパーク推進事業）	・緑の活動団体認定制度 市認定「緑の活動団体」が行う、緑の保全・創出・普及活動（自然観察会、森林散策等のイベント）への市民参加。企画3回 開催1回 11人参加 ・コミュニティガーデンづくり事業 花壇づくり助成 267団体、花いっぱいまちづくり助成 6団体、ポケットパーク推進事業 6カ所	○	建設局	百年の杜推進課
		⑫地下鉄駅階段への消費カロリー表示	地下鉄駅構内（仙台駅、勾当台公園駅等）の階段に、階段を昇った時に消費するエネルギー量を表示し、地下鉄利用者の健康づくり・体力づくりに活用してもらう。	・地下鉄駅構内（仙台駅、勾当台公園駅等）の階段に、階段を昇った時に消費するエネルギー量を表示	○	交通局	営業課
		⑬障害者スポーツ教室開催事業	障害のある方々に対して、各種のスポーツ教室を開催し、健康の増進と障害者スポーツの普及を図る。	・障害者スポーツ教室 14回開催、延241人参加 ・障害者ボウリング教室 14人参加 ・ウエルフェアスポーツ2021 173人参加	○	健康福祉局	障害企画課
(4)	健康づくりに取り組む事業所への支援を強化する	①わかりやすい指導教材の作成 （新入社員の生活習慣病予防講座、メタボリックシンドローム予防教室、健診データの情報提供等）	生活習慣病予防に関する教材を作成し活用をすすめる。 （新入社員の生活習慣病予防講座、メタボリックシンドローム予防教室、健診データの情報提供等）	・他課事業や包括支援センターへの統計分析の情報提供、各地区保健活動のブロックごとに統計を活用 ・新入社員の生活習慣病予防講座・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ・減量チャレンジ講座：2回 延28人参加		若林区	家庭健康課
(5)	健康診査結果でリスクのある人の重症化予防のための取り組みを強化する	①基礎健診受診者への事後指導 ②国民健康保険特定保健指導 ③生活習慣病重症化予防対策	健診結果にて、生活習慣改善の必要性が高いと判定された方に保健指導を実施する。 特定健診の結果階層化により積極的支援及び動機付け支援と判定された方へ保健指導を実施する。 健診の結果、要医療と判定されながら治療していない者に対して、電話や通知文等で受診勧奨をし、リスクが高いものに対しては訪問して保健指導を実施する。	・対象者335人に対し電話や文書による受診勧奨および指導の実施 ・特定保健指導 578人（動機付け支援 463人、積極的支援 166人） 【特定健診（検査値高値者への受診勧奨事業）】 ・対象者1,870人へ受診勧奨通知を送付（中性脂肪、腎機能該当343人は医療機関受診確認票を同封、LDLコレステロール該当者1,527人は通知のみ） ・中性脂肪、腎機能該当者249人より、医療機関受診確認票の返信あり（返信率72.6%） ・中性脂肪、腎機能該当者で受診確認ができなかった158人について、保健年金課で電話による受診勧奨（保健指導）を実施		各区	家庭健康課
		④糖尿病性腎症重症化予防事業	基礎健診の結果、要医療と判定されながら治療していない者に対して、電話や通知文等で受診勧奨をし、リスクが高いものに対しては訪問して保健指導を実施する。 特定健診・基礎健診結果にてHbA1cが要指導だった者に対し、個別通知にて結果説明受診の勧奨、健康相談の案内を行う。	・対象者34人に受診勧奨の通知文及び受診状況確認票を送付 ・アンケート未返信者等の要確認者に対し電話にて受診勧奨及び保健指導を実施 ・特定健診 143人 基礎健診 1人		各区	家庭健康課 保健福祉課
						太白区	秋総保健福祉課
						健康福祉局 各区	保険年金課 家庭健康課 保健福祉課
						健康福祉局 各区	保険年金課より対象者2,119人へ受診勧奨通知と医療機関受診確認票を送付。 ・1,330人より医療機関受診確認票の返信あり（返信率62.8%） ・受診確認ができなかった1,077人について、各区・総合支所で電話や訪問（面談）等による受診勧奨（保健指導）を実施 【B.治療中断者】 ・保険年金課より対象者223人へ受診勧奨通知を送付し、内213人に電話による受診勧奨を実施

			従事職員向けの医師講話および事例検討会を実施する。	・事例検討会 従事職員向けの医師講話及び事例検討会を年1回実施 18人参加 ・保健指導研修会（動機付け面接） 従事職員向けの講話・ロールプレイを年1回実施 19人参加		宮城野区	家庭健康課
(6)	壮年期のその他の生活習慣病発症予防	①障害者の健康づくりに関する事業の調査	障害者の健康づくりに関する各機関の取り組み状況を把握し、課題の共有を行い、今後の事業展開に活かす。	・各区ネットワーク会議において地域情報の収集を行い、ネットワークの構築 ・運動教室で使用するツールの開発		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		②健康づくり講座の開催	働き盛りの世代の肥満や運動不足などの生活習慣の改善を促すことを目的とした講座の開催	・新入社員の生活習慣病予防講座：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ・ヘルスアップセミナー（一般）：12回 延159人参加 ・ヘルスアップセミナー（団体）：2回 19人参加 ・減塩チャレンジ講座：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ・栄養講座：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
			多職種による健康相談や、疾患や健康課題に合わせた講座の開催。	・あおば健康づくり講座：開催回数2回 延20人参加 ①「時短！カンタン！野菜たっぷりレシピで健康づくり」（対象：1歳から未就学児の保護者） 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。申込者2名に資料送付 ②「ウォーキングで街めぐり～四ツ谷用水編～」 （対象：40～69歳の1時間程度ウォーキングが出来る方）：9人参加 ③「30代～50代女性のための骨粗鬆症予防～チェアピラティスで健康づくり～」 （対象：30～50代の女性）：11人参加 ④「血圧が高めの方へ～正しく知ろう高血圧症～」（対象：青葉区民）：新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止。申込者20人に資料送付 ・あおば健康づくり相談：17人（うち禁煙相談5人） ・生活習慣病予防教室（対象：R2特定健診基礎健診受診者、HbA1c要指導者、BMI24.9以下の35～64歳 413人）：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団での教室開催は中止とし、糖尿病予防に関するリーフレットを送付し啓発		青葉区	家庭健康課
				①健康生活講座：開催回数1回 実9人（内容）骨粗鬆症予防講話・運動実技 ②糖尿病及び歯周病予防に関する情報提供（対象者）令和3年度特定健診受診者のうち40～64歳かつヘモグロビンA1c5.6～6.4mg/dLに該当した者403名（治療中・重症化予防対象者等除く）	宮城野区	家庭健康課	
				・健康づくり講座 年間3回企画するも、新型コロナ感染症拡大のため中止。	若林区	家庭健康課	
				・生活習慣改善相談 31人 ・骨粗しょう症予防セミナーは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施できず個別相談対応 ・健康づくり講座（糖尿病予防講座）をオンラインで実施し、453人へ通知し30人の参加があった。	太白区	家庭健康課	
				・健康相談 1件	太白区	秋総保健福祉課	
				・健康づくり相談12回 参加者10名 ・健康づくり講話5回 延43名(うちオンライン7名)Webexを活用したオンライン同時配信を実施。	泉区	家庭健康課	
		③生活習慣病講演会の開催	生活習慣病の病態や予防法についての講演会を開催する。	・ヘルスプロモーション啓発セミナー：1回38人参加		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		④地域の生活習慣病予防事業	地域の特徴や課題をふまえ、糖尿病予防及び重症化予防についての正しい知識を地域の関係機関の連携により周知啓発する。	・国保データシステムと地域情報ファイルを活用し、地域情報ファイルを作成。 ・地域情報カルテを用いて小学校・市民センター・児童センター職員と情報交換会を実施。		泉区	家庭健康課
		⑤幼稚園や児童館、小中学校との連携	父兄や児童を対象にした健康教育の実施や、ライフステージの特徴に合わせた情報提供	・福沢市民センターと共催で、小学1～2年生を対象とした運動講座 親子7組15人参加。 ・運動メニュー等の実施内容をホームページに掲載し啓発。 ・児童館や市民センターでの健康教育等で啓発チラシの配布。		青葉区	家庭健康課
				・国保データシステムと地域情報ファイルを活用し、地域情報ファイルを作成。 ・地域情報カルテを用いて小学校・市民センター・児童センター職員と情報交換会を実施。 ・生活スタイルや健康課題に合わせたパネル展示による情報提供を実施。		泉区	家庭健康課
			児童に対し食生活、歯と口、防煙をパッケージ化した人形劇のDVDを作成し、出前健康講座を児童館と連携して実施。参加児童に配付した保護者向けリーフレットにより保護者に対する啓発を行う。	・児童館6か所（富沢、郡山、柳生、茂庭台、大野田、上野山）、1保育所（袋原あおぞら）、1小学校（四郎丸）計666人へ健康教育を実施し、保護者向けパンフレットを配付。		太白区	家庭健康課
⑥生活習慣病予防イベント	体力測定や血管年齢測定等の体験型のイベントを行い、生活習慣病についての知識を深め、自身の生活習慣を振り返る機会とする。	・六郷地区健康づくり事業内において、尿中ナトリウム比測定会を3回実施。計32名 ・新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点より実施せず		若林区	家庭健康課		
	地域住民へ健康づくり等に関する知識の普及・啓発。健康チェックや健康クイズラリー、子供の健康クイズを通し普及・啓発を行う。	・新型コロナの影響で地区健康まつりは全て中止 ・代替企画として、区中央市民センターギャラリーホールを活用した啓発を実施		青葉区 太白区 仙台市健康福祉事業団	家庭健康課 秋総保健福祉課 仙台市健康増進センター		
	地域のイベントにおいて体験型ブースを設置、生活習慣病についての知識を深め、自身の生活習慣を振り返る機会とする。	・いずみ青空ストレッチ&ウォーキング3回 参加者延べ106名		宮城野区 泉区	家庭健康課		

	⑦健康づくり支援プラン事業	一人一人の健康づくりや介護予防の目的に合わせた健康づくり処方をもとに、健康づくり応援プランを作成し、継続実施を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合コース 38人（障害者5人、高齢者2人、一般31人）</li> <li>簡易コース37人（障害者21人、高齢者8人、一般8人）</li> <li>身体活動コース83人（障害者54人、高齢者23人、一般6人）</li> <li>食生活コース0人</li> <li>支援プラントレーニング2,816人（障害者2,071人、高齢者619人、一般126人）</li> <li>1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月フォロー 188人</li> <li>生活習慣病重症化合併症予防事業 3回 24人</li> <li>医師による健康相談2人</li> </ul>		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
	⑧障害者健康増進事業	障害者の健康増進のための運動教室の実施、および情報収集や発信、支援者や指導員の育成を実施し、専門的な健康づくり支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域拠点教室（個人） 96回 延776人参加</li> <li>地域拠点教室（団体） 8団体 延27回 263人</li> <li>地域拠点教室（オンライン） 11回 12団体 延87団体 813人</li> <li>施設対象教室 9回 延154人参加</li> <li>支援学校対象教室 12回 延388人参加</li> <li>各区障害者自立支援協議会等への参加 5区 延47回</li> <li>情報収集やネットワークづくり</li> <li>地域、専門機関と連携した個別支援や事業展開 11回 延98人</li> </ul>		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
	⑨健康づくり相談	自分の健康状態にあった生活習慣改善により生活習慣病を予防し、健康の自己管理に役立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>5回開催 随時相談4回実施 実13人 延13人参加</li> </ul>		宮城野区	家庭健康課
	⑩特定健診の結果を活用した睡眠啓発	国保特定健診の間診結果より睡眠で十分休養がとれていないと回答した40・50歳代男性に対し睡眠に関するリーフレット等を送付し、生活習慣病予防と心の健康に活かす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度特定健診受診者のうち習慣多量飲酒に該当する対象者100名・令和2年度宮城県健康調査回答者のうち習慣多量飲酒者に該当する対象者74名へ飲酒に関するリーフレット及び相談先の一覧を送付</li> </ul>		宮城野区	家庭健康課
	⑪健康づくりに関するSNSでの発信	重点地域の働き盛り世代への啓発の一環として、地域団体による健康課題解決のための健康レシピの開発と実際の調理過程をSNSにて発信。	<ul style="list-style-type: none"> <li>せんだいTubeにて動画の公開。</li> </ul>		若林区	家庭健康課

### 【3】高齢期の健康を支えるための取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課		
(1) 高齢期の健康づくりに関する情報を発信する	①地域のサロン等への支援	健康情報の提供や健康教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育5回 実130人参加（コロナフレイル・生活習慣病予防等）</li> <li>運動教室参加者を対象に健康講話 49回 延431人</li> </ul>		宮城野区	家庭健康課		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会、復興公営住宅等サロンの健康教育</li> </ul>		若林区	家庭健康課		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>1団体 1回 26人参加</li> </ul>		太白区	家庭健康課		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>1団体 2回 33人</li> </ul>		太白区	秋総保健福祉課		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育の依頼を受け、実施。当該地区の健康状態について地域情報カルテを用いて媒体を作成し、情報提供を行った。</li> </ul>		泉区	家庭健康課		
(2) 高齢者が健康づくりに取り組むための環境整備を行う	①元気はつらつチャレンジ・カード	65歳以上の方が対象。施設利用ごとにポイントを貯めて、それに応じた特典を受けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カード発行数 1,701枚</li> <li>表彰者数：シルバー賞 434人、ゴールデン賞 27 100回達成 239人（令和4年3月末日現在）</li> </ul>		文化観光局	スポーツ振興課		
			地域で活動するサポーターやボランティアの活動を支援するために、スキルアップ研修会や情報の提供を行うとともに、地域の社会資源である運動自主グループの活動継続の支援を行う。 （内容：巡回啓発支援、世話人会開催、会員募集、健康だよりの送付、立ち上げ支援）  地域における介護予防の取組を強化するために、リハビリテーション専門職等を通いの場等に派遣し、専門的な視点から健康づくりに関する技術的な助言を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で活動するサポーターやボランティアの活動を支援するために、スキルアップ研修会や情報の提供を行うとともに、地域の社会資源である運動自主グループの活動継続の支援を行う。</li> <li>（内容：巡回啓発支援、世話人会開催、会員募集、健康だよりの送付、立ち上げ支援）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の社会資源である運動自主グループの活動継続の支援（20グループ）</li> <li>情報提供2回</li> <li>会員募集案内チラシ配布（区役所、市民センターなど）</li> <li>会員募集案内掲載（ホームページ、館内）</li> </ul>		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
				<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり応援事業（通いの場へのリハ専門職の派遣）：29団体</li> <li>地域活動活性化支援事業（新型コロナウイルス感染症で停滞した地域の活性化を図るための健康運動指導士等の派遣）：11団体</li> </ul>		健康福祉局	地域包括ケア推進課	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>新規サポーター養成研修 10回 延36人参加</li> <li>追加サポーター養成研修 25回 延318人参加</li> <li>活動継続のための訪問支援 2回 延71人参加</li> <li>立ち上げ後の確認支援 0回 延0人参加</li> <li>スキルアップ研修 34回 延589人参加</li> <li>介護予防自主グループ数（令和3年度末）234団体</li> </ul>	○	健康福祉局 各区	地域包括ケア推進課 障害高齢課 保健福祉課	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>新規サポーター養成研修：5回（1区）延22人参加</li> <li>追加サポーター養成研修：20回（3区及び1支所）延287人参加</li> <li>スキルアップ研修：17回（4区及び2支所）延323人参加</li> <li>合同スキルアップ研修：2回 31人参加</li> <li>活動継続のための支援：27回</li> <li>杜の都の体操シリーズの普及啓発体験会</li> <li>青空ストレッチ：36回延265人 その他体験機会の提供：7回延138人</li> <li>杜の都の体操シリーズの普及啓発</li> <li>DVD、CDの提供 体操シリーズDVD：73枚、杜の都のおトク体操CD：10枚</li> <li>リーフレットの提供 きほん体操：5294枚、おトク体操：478枚、おトク体操2：283枚、レッツ!!家トレシート：639枚</li> </ul>	○	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター	

③シニア世代向け健康づくり講座	多様な健康状態の高齢の方が地域で継続して参加できる運動を中心とした通いの場の創設を目的に、介護予防運動サポーターなしでも自主的に継続できるグループの育成のための講座を行う。	・2地域で講座実施 16回 ・講座終了後、2地域で自主的に活動を継続 ・育成後の活動継続支援 8回	○	健康福祉局 各区	地域包括ケア推進課 障害高齢課 保健福祉課
		・介護予防支援者研修会 地域で介護予防の支援を行っている方を対象に知識や技術の習得のため開催 内容：運動支援者のための「脳健康づくり」研修会：16人参加	○	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
④地域のサロン等への支援	健康情報の提供や健康教育の実施。	・地域のサロン（被災者交流自主グループや復興公営住宅等のサロン含む）での健康教育を実施 34回 延319人参加		青葉区 若林区 太白区	家庭健康課 秋総保健福祉課
⑤被災者向け介護予防・コミュニティ形成事業	被災による生活環境の変化やストレスによる生活不活発病・閉じこもり予防のため、運動を切り口としたサロンを開催。	・復興公営住宅5か所、防災集団移転地区2か所、浸水地域2か所の計9か所で、町内会や地域包括支援センター等と協働で運動教室を実施 49回 延431人参加	○	宮城野区	家庭健康課
		・男性の孤立予防を目的とした交流支援（男の手習い教室） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での実施は全面中止とした。 以前参加した方に、メッセージカードを配布（12月、3月）延べ人数25人 企画会議回数：4回 ・運動グループ（かんたん体操）の自主的運営の支援 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動休止。いずみ青空ストレッチ&ウォーキングを案内。	○	泉区	家庭健康課
		・地域介護予防活動支援教室：10回 延93人	○	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
⑥高齢者健康づくり運動教室	介護予防を推進するために、高齢者を対象にした教室の開催。	・元気高齢者、後期高齢者等を対象に、シルバーセンター、健康増進センターを会場に高齢者運動教室を開催 ・元気あつぷ運動教室（満65歳以上の方）：206回 延3,928人 ・はつらつ運動教室（満80歳以上の方）：103回 延1,307人 ・いきいき脳活健康教室（認知機能の低下予防に興味がある満65歳の方）：34回 延383人 ・シニアステップアップ運動教室（概ね60歳以上）：139回 延2,671人		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
⑦CareTech（ケアテック）推進事業	仙台フィンランド健康福祉センターのネットワークを基に、ITを活用した高齢者向け福祉機器（ケアテック）の開発や実証、導入支援の取組。	・ニーズリサーチ事業： 勉強会を2回開催し、のべ34名参加、2社に介護現場でのニーズリサーチを委託し報告書を提出 ・製品・サービス開発委託：2社が介護現場向けIT製品を納品 ・実証サポート：1件採択し介護施設での実証を実施 ・IT導入定着支援事業：セミナーを1回開催し、のべ32名参加、3施設でのコンサルティングを実施	○	経済局	産業振興課

#### 【4】その他健康的な生活習慣を形成するための取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) その他健康的な生活習慣を形成するための取り組み	①呼吸器の病気や障害のある方の健康づくり	呼吸器疾患特有の障害特性により、生活のしずらさにつながらないよう、同疾患のある方が健康維持や生活障害軽減のため、早期から呼吸リハビリテーションに取り組みめるよう、環境整備や仕組みづくりを進める。	・呼吸らくらくレクリエーションサークル 13回 延84人  ・呼吸健康教室 春教室開催。秋教室は新型コロナウイルス感染症防止のため中止としたが、講話動画を作成し、せんだいTubeに掲載した。 ・呼吸リハビリテーション支援者研修会をオンラインにて開催した。		仙台市健康福祉事業団  健康福祉局	仙台市健康増進センター  障害者総合支援センター
	②多様な手法を活用した情報の発信	健康課題や各種月間・週間に合わせて、パネル展・庁内放送・区役所1階ディスプレイ表示等を活用した効果的な発信。	・区役所や市民センターでのパネル展やリーフレット配布 ・情報コーナーやデジタルサイネージ等を使用した啓発 ・ホームページやFacebook、庁内放送を利用した啓発 ・商業施設、市民センター、図書館での啓発 ・関係機関との会議での啓発 ・市民センターと協働で啓発資料を作成し、市民センターホームページへの啓発や館内配布		各区	家庭健康課 保健福祉課
	③未就学児の親子への健康教育	健康づくりへの関心を高める機会とする。	・文倉保育所、台原児童館、貝ヶ森児童館において、未就学児の口腔ケアについての健康教育を実施。16組33人参加。 ・常備菜レシピ啓発事業において、未就学児の保護者を対象に、防災士による食の備蓄と活用方法についての講話、当該による県の健康課題と常備菜レシピ集についての講話を託児付きで実施。未就学児の保護者6人参加。		青葉区	家庭健康課
	④常備菜レシピ啓発事業	バランスの良い食習慣づくりをねらい、市民協働で作成した「常備菜レシピ集」を活用した健康教育や啓発活動を実施する。	・木町通市民センターと共催で講座を実施。防災士による食の備蓄と活用方法についての講話、当該による県の健康課題と常備菜レシピ集についての講話を実施。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、試食は行わず調理デモを行い啓発。未就学児の保護者6人参加。 ・木町通市民センターと共同で、常備菜レシピの子ども向けアレンジの紹介動画を作成しYouTubeに掲載。 ・地域への普及啓発をねらい、関係機関や団体等へ常備菜レシピ集の説明と配布 ・母親教室の栄養士講話の中で常備菜レシピ集の説明と配付 妊婦21人参加 ・区内専門学校24校、関係機関2か所にニュースレターを送付（年2回/7月・2月）		青葉区	家庭健康課
	⑤HealthTech（ヘルステック）推進事業	ヘルスケア分野において、市内IT企業や関係組織との協業により、ITやその他技術を活用し、ヘルスケアの新製品・サービス開発を行う「ヘルステック」産業の振興と人材育成の取組。	・ヘルスケア分野において、市内IT企業や関係組織との協業により、ITやその他技術を活用し、ヘルスケアの新製品・サービス開発を行う「ヘルステック」産業の振興と人材育成を実施。スマートフォンアプリを用いた健康習慣継続およびフレイル予防について市民が参加する実証を行った。	○	経済局	産業振興課
	⑥市民協働による健康づくりイベントの開催	地域住民が実行委員となり、健康づくりイベント「健康のつどい」を企画・開催する。	・イベント中止		太白区	秋総保健福祉課



⑦リラックス方法の普及啓発	休養のためのリラックス実践法として、漸進的筋弛緩法を普及啓発する。	・リラックス実践法としての筋弛緩法を「ゆるり体操」を高齢者運動教室や介護予防サポータースキルアップ研修で取り上げ、普及啓発した。		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
⑧新型コロナウイルス感染症における健康二次被害予防啓発	区民が新型コロナによる健康二次被害を理解し、感染症予防と健康二次被害予防の両面のセルフケア及びコミュニティ活動ができるよう支援する。	・ウイズコロナ・ポストコロナにおける地域活動リーフレットの作成・配布 区内450か所 8,000部 ・健康二次被害リーフレットの配布 1,800部 ・健康教育等 11か所 延265名 ・地域活動再開支援 10地区		宮城野区	家庭健康課
⑨地域限定版健康通信の発行	重点地域における、地域内の健康づくりイベント等の掲載や生活習慣病予防の啓発を定期的に発行。	・年3回 7500部 町内会別全戸配布及び町内会回覧板での周知		若林区	家庭健康課

## 【重点分野2】気付く、つながる、支える心の健康づくり

### 【1】悩みや不安の解消

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 心の健康に関する情報発信を強化する	①心に関する相談窓口等の周知	地区社会福祉協議会の役員や福祉委員を対象にストレスやうつについての研修を行い、つながり支えあえる地域づくりに取り組む。	・こころの健康づくり講演会「アルコールとの適切な付き合い方」の実施：20名参加	○	太白区	秋総保健福祉課
	②相談窓口・相談体制の整備、心の相談窓口等の紹介と紹介資料の設置	復興公営住宅における相談窓口開催や相談体制を整備する。心の相談窓口等の紹介と紹介資料の設置箇所を増やす。	・主に復興公営住宅入居者を対象としたヘルスアップ通信(臨時号年2回)等の配布。(総数 2240部)	○	若林区	家庭健康課
	③自殺対策の総合的な取り組み	本市の自殺の実態に関する情報を市民や関係機関へ発信、ホームページによる市民や関係者向けの啓発、自殺予防週間、強化月間での啓発、パンフレットの作成を行う。	・自殺予防週間に合わせたポスターの作成と配布(371ヶ所、463枚) ・相談窓口の周知のためのチラシの作成と配布(382ヶ所、6,770枚) ・ホームページを利用した相談窓口の周知	○	健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	④学校における取り組み	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの効果的な活用などについて啓発を図る。	・スクールカウンセラーの相談件数は仙台市立小、中、高、特支学校の合計で21,188件。情報交換や心理教育等の活動を含めると63,597件。 スクールソーシャルワーカーは7名体制で、訪問回数は806回、電話が2,306回。		教育局	教育相談課
	⑤思春期問題研修講座・思春期保健教育	思春期の事例に携わる教職員や関係機関職員を対象に、思春期精神保健に関する基本的な知識を提供する。	・日 時：令和3年11月4日(木) 会 場：自立システムズホール仙台 2階交流ホール テーマ：「コロナ禍での子どものこころの安心感・安全感のために大切なこと」 講 師：浜松市精神保健福祉センター 所長 二宮 貴至 氏(精神科医) 参加者：88名(会場参加及びオンライン参加の併用)		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
		思春期の男女及びその保護者を対象として、思春期健康教育を行い、新進の健康やその発達について正しい知識の普及啓発を行う。	・小学校4校(延318名)、中学校1校(延105名)、高校1校(延393名)で実施。講話に対する生徒の反応は良く、アンケートにおいても命の大切さや子育ての大切さを実感した内容のものが多くみられる。		若林区	家庭健康課
(2) 従業員数の少ない事業所が利用できる支援機関を周知・啓発する	①働き盛り世代に届く情報の発信	地域・職域と連携し、相談窓口一覧等を記載した啓発リーフレットや啓発グッズ等を活用し、働き盛り世代に向けた情報発信を行う。生活習慣病予防事業や健康教育の場を活用して啓発を行う。	・開催回数 4回 ・児童自立支援施設「人と自分への思いやり」 中学生13人、教員3人 「性感染症予防、デートDV、相談窓口見学(家庭健康課他)」小中学生14名、教員6名 ・「望ましい男女交際について」 中学2年生 37人 ・「性感染症について」 中学3年生 39人 ・「思春期の体と心」 中学1年生43人 ・「生と性の学習会～いのちの誕生～」 中学1年生111人、中学2年生134人、特別支援8人 ・「育ちゆく体とわたし」小学生4年生36人 ・性感染症について 中学3年生39人 ・命の安全教育 小学2年生28人		太白区	家庭健康課
		教育局健康教育課と連携し、市立中学校・高校において宮城県助産師会が思春期健康教育を実施する。	・健康教育 16校・1,751人(小学校、中学校、児童自立支援施設)		宮城野区 若林区 泉区	家庭健康課
		仙台市立小中学校において、いのちを大切に教育の取組を推進する。また、教員向けに研修会を行い、意識付けを図る。	・全ての学校においていのちを大切に考える学習に取り組んだ。 教員を対象にした研修会を実施した。		教育局	教育指導課
		地域・職域と連携し、相談窓口一覧等を記載した啓発リーフレットや啓発グッズ(ティッシュ・絆創膏・缶バッジ等)を活用し、働き盛り世代に向けた情報発信を行う。	・健康教育：コロナ禍でも実施している既存事業等(例：父親教室、産後交流会、介護予防自主グループサポータースキルアップ研修、精神保健福祉家族教室等)において、こころの健康に関する健康教育を実施した。(実施回数11回 延参加者数95名) ・こころのケアをいっきき市民健康プランにかかる啓発の年間重点事項に設定し、各健康教育等にてこころの健康に関する啓発媒体を配布した。(延配布数：734名) ・自殺予防週間：当課窓口前の啓発コーナーにて、こころの健康に関するポスター掲示、当該リーフレットおよび啓発媒体を設置。 ・自殺対策強化月間：広瀬図書館との協働により、図書館内にこころの健康に関する特設ブースを開設し、関連図書および相談先一覧等のチラシを設置。	○	青葉区	宮総保健福祉課
			<再掲：重点1【2】(2)③> ・タクシー会社(区内の事業に賛同する会社) 定期的に健康づくり情報を提供：5社 年12回 ・理美容店(区内協力店) 定期的に健康づくり情報を提供：60店舗(6月まで61店舗) 年12回 ・事業所(区内協力事業所) 不定期に健康づくり情報を提供：2社 ・自動車学校 4か所 年12回	○	宮城野区	家庭健康課
			・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、衛生講習会が開催されなかったため実施できず。		○	太白区
	②職場のメンタルヘルス支援事業	企業の要請により、精神科医、臨床心理士、精神保健福祉士を派遣し、従業員への研修会を開催する。	・研修会への講師派遣 実施回数：2回、支援対象数：163名		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
		心と体の健康づくりに関するパネル展を12月と3月に区役所本庁舎・東庁舎1階で、3月に泉図書館で実施。併せて啓発リーフレットやグッズも設置した。 ・3月の自殺対策強化月間では、働き世代が利用するアリオや泉警察署、ハローワーク、区役所の窓口(障害高齢課・戸籍住民課・保険年金課・保護課)へ啓発リーフレットや啓発グッズを配布した。 ・通年、心の健康づくりに関する啓発リーフレットと啓発グッズを区役所情報コーナーへ設置。 ・泉区Facebookで、睡眠や相談機関一覧等について情報発信した。		○	泉区	家庭健康課

			業種別の団体との連携により、講習会等に合わせて講話や啓発を行う。	・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、衛生講習会が開催されなかったため、実施できず。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。		太白区	家庭健康課
(3)	職場におけるメンタルヘルス向上を推進する	①心の相談窓口の周知・啓発	「せんだい健康づくり推進会議」と連携して、心の健康づくりに関するリーフレット等を活用し、働き盛り世代に向けた周知・啓発を行う。	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会議、ワーキングともに実施なし		泉区	家庭健康課
					○	健康福祉局	健康政策課

## 【2】ストレスとの付き合い方や心の病気についての正しい知識の普及・啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課	
(1)	ストレスとの付き合い方や心の病気についての正しい知識の普及・啓発	①自殺対策の総合的な取り組み	全庁的な窓口職員、保健師等の専門職員、民生委員、地域包括支援センター、司法書士等のゲートキーパーを養成する。	・自殺対策ゲートキーパー養成研修（一般職員対象） 講話「こころの声に気づく～職員1人1人ができること」 ロールプレイ 受講者：90名（会場参加及びオンライン参加の併用） ・地域自殺対策研修（専門職対象） 講話「自死についての基礎知識と対応について」 絆センターで使用しているツールの紹介 受講者：156名（オンデマンド配信型で実施） ・ゲートキーパー養成研修標準テキストの活用 各区職員が、地域住民や団体に対して、ゲートキーパー養成研修に取り組みやすくなるように令和2年度に作成した標準テキストの活用を促した。また、必要時、各区と協働し、研修を実施した。（活用実績：青葉区家庭健康課・障害高齢課、宮城野区障害高齢課、太白区障害高齢課、泉区家庭健康課・障害高齢課 計694名受講）		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
		②自殺対策連絡協議会	関係機関、関係団体等と連携しながら、本市における自殺対策の推進を図る。（自殺対策連絡協議会、自殺総合対策庁内連絡会議の開催）	・自殺対策連絡協議会：2回（2回開催予定） ・自殺総合対策庁内連絡会議：1回（1回開催予定）		健康福祉局	障害者支援課
		③精神障害者地域社会交流促進事業	精神疾患・精神障害に対する正しい理解の普及を行い、これに基づく市民の適正な態度の醸成を促進する。 スピーカーズビューロー講演会の開催（月2回・年間20回以上） （新型コロナウイルス感染予防策を講じた上で実施予定）	・スピーカーズビューロー講演会 精神障害のある当事者が自己の体験について語り、疾患に対する誤解や偏見を解消することを目的とした講演会 年間20回開催（対面、Web、オンデマンド）、聴講者681人 ・動画作成（せんだいtubeにて配信）：1本 ・機関紙発行：4回（配布箇所数延608カ所）		健康福祉局	障害者支援課
		④メンタルヘルス協力者養成の取り組み	理美容師や被災者・区民への支援者などを対象に、ワンポイント講座、ステップアップ講座を開催し、自殺防止に繋げるゲートキーパーとして養成する取り組みを行う。	・ゲートキーパー養成：父親教室や子育て支援センターにおける健康教育の中でゲートキーパー養成を実施した。（実施回数全6回 延参加者数61名） ・健康二次被害に関する健康教育にて民生委員等地域役員に対し心の健康づくりについてワンポイント講座を実施（11回 延265名）、リーフレットの配布 1,800枚 ・被災者健康づくり支援の中で心の健康づくりに関するミニ講話を実施（2回 延9人） ・民生児童委員を対象にゲートキーパーの啓発を企画するも、新型コロナ感染症拡大のため中止。 ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、衛生講習会が開催されなかったため、実施できず。		青葉区	宮総保健福祉課
		⑤自殺予防週間・自殺対策強化月間	自殺予防週間や自殺対策強化月間に合わせてパネル展や啓発グッズの配布により、こころの健康に関する情報提供と啓発を行う。また、身近な人が気づき、病気の早期発見・治療につなげることの大切さを啓発する。	・自殺予防週間に合わせたポスターの作成と配布（371ヶ所、463枚） ・9月の自殺予防週間：デジタルサイネージに啓発資料を掲載 ・3月の自殺対策強化月間：健康づくり情報コーナーへこころの健康に関する掲示物と啓発リーフレットを設置。リーフレットは8種類、80部を配布。デジタルサイネージへ啓発資料を掲載。 ・児童館・サロン・保育所等の健康教育や研修会での啓発資料配布248部。 ・管内復興公営住宅7か所の掲示板へ啓発資料を掲示。	○	健康福祉局	精神保健福祉総合センター
			【自殺予防週間（9月）】 ・パネル展、情報コーナー ・専門学校6校に対し心の健康づくりに関する啓発媒体配布（1,699部） ・ポケットティッシュ及びチラシ等啓発グッズの配布（タクシー会社・理美容店等）751部配布 【自殺対策強化月間（3月）】 ・宮城野図書館と共催で心の健康づくりに関する啓発・書籍の展示（1月～3月） ・パネル展、情報コーナー 【その他】 ・相談窓口等のリーフレット設置、ポスター掲示 ・介護予防サポータースキルアップ研修でのゲートキーパー講話 ・被災者健康づくり情報誌の配布（年4回 延48カ所 延6,904部）	○	青葉区	家庭健康課	
			【パネル展示とリーフレット配布（区役所/イオンスタイル仙台卸町）】 ・自殺予防週間（9月）：配布部数687部 ・自殺対策強化月間（2～3月）：配布部数1,399部 ・女性の健康週間（2～3月）：配布部数606部	○	若林区	家庭健康課	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報コーナー、区役所、秋保総合支所パネル展での啓発、</li> <li>商業施設、図書館でのパネル展の実施。</li> <li>民生委員・児童委員に対し、こころの健康づくりに関するリーフレット及び啓発グッズの配付</li> </ul>	○	太白区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>12月、3月に区役所本庁舎・東庁舎1階で、3月に泉図書館で、ストレスやリラククス方法、相談機関等に関するパネル展を実施。併せて啓発リーフレットやグッズも設置した。</li> <li>3月の自殺対策強化月間では、区内の商業施設や市営住宅、区内・近隣大学、のびすく泉中央、泉警察署、ハローワーク、社会福祉協議会、区役所の窓口(障害高齢課・戸籍住民課・保険年金課・保護課)、区内子ども食堂、認知症家族の会、地域包括支援センター、健康づくり相談や個別禁煙支援の参加者へリーフレットやグッズを配布し啓発した。</li> <li>3月の健康づくり講話の中で、心の健康づくりに関する講話を行った。</li> <li>【その他】</li> <li>通年、ストレスや睡眠等、心の健康づくりに関する啓発リーフレットと啓発グッズを区役所情報コーナーへ設置。</li> <li>泉区Facebookで、睡眠や相談機関等について情報発信。</li> </ul>	○	泉区	家庭健康課
⑥心の健康づくり講演会、地域健康教育	講演会や講座(地域健康教育)等の開催により、ストレスへの上手な対応や心の病気に関する正しい知識の啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内専門学校教職員を対象としたゲートキーパー研修の開催。3校7名が参加。</li> <li>家庭健康課で作成の専門学校向けニュースレターにてメンタルヘルス普及啓発の内容を掲載。</li> <li>コロナ禍のメンタルヘルス～影響を受けた方を支えるために～のテーマで講演会を予定していたが、新型コロナウイルスの感染症の影響で中止。参加予定者に対し、資料やチラシを送付。</li> <li>健康二次被害に関する健康教育にて民生委員等地域役員に対し心の健康づくりについてワンポイント講座を実施(11回 延265名)、リーフレットの配布 1,800枚</li> <li>被災者健康づくり支援の中で心の健康づくりに関するミニ講話を実施(2回 延9人)</li> <li>※被災者支援の取り組み内にて実施。</li> <li>&lt;再掲：重点【3】(1)①&gt;</li> <li>町内会、復興公営住宅等サロンでの健康教育 延253人参加</li> <li>こころの健康づくり講演会「子ども若者のこころを守るために」をWeb開催(来場参加あり)申し込み22人</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず。</li> </ul>		青葉区	障害高齢課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>健康二次被害に関する健康教育にて民生委員等地域役員に対し心の健康づくりについてワンポイント講座を実施(11回 延265名)、リーフレットの配布 1,800枚</li> <li>被災者健康づくり支援の中で心の健康づくりに関するミニ講話を実施(2回 延9人)</li> </ul>		青葉区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>健康二次被害に関する健康教育にて民生委員等地域役員に対し心の健康づくりについてワンポイント講座を実施(11回 延265名)、リーフレットの配布 1,800枚</li> <li>被災者健康づくり支援の中で心の健康づくりに関するミニ講話を実施(2回 延9人)</li> </ul>		宮城野区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>※被災者支援の取り組み内にて実施。</li> <li>&lt;再掲：重点【3】(1)①&gt;</li> <li>町内会、復興公営住宅等サロンでの健康教育 延253人参加</li> </ul>		若林区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>こころの健康づくり講演会「子ども若者のこころを守るために」をWeb開催(来場参加あり)申し込み22人</li> </ul>		太白区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず。</li> </ul>		泉区	家庭健康課
⑦学生を対象とした啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学期の時期である5月～6月に、区内の専門学校や大学を訪問し、学生を対象とした心の健康づくりや相談窓口を掲載したリーフレット、ティッシュ等の配布を依頼する。</li> <li>アルコールや薬物問題に関する高校生への講義や、若年層の自死予防を図るボランティアサークルの運営と、大学での講義、啓発媒体の作成などの普及啓発活動の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①若年層向けの普及啓発活動の検討会</li> <li>市内及び近隣の大学の学生をメンバーとしたボランティアサークル「はあとケアサークル YELL」で、普及啓発活動の検討を実施、開催回数：11回、参加者：28名(延46名)</li> <li>メンタルヘルスに関する絵本の作成(500部)</li> <li>幼児とその保護者向けに啓発媒体を作成。次年度、配布予定。</li> <li>ボランティアサークル「YELL」による大学の講義を利用した自死予防、メンタルヘルスの啓発の実施。実施数：3大学で計4回、受講数：312名</li> <li>②宮城大学、東北学院大学の図書館等において、自死予防の啓発を実施</li> <li>内容：メンタルヘルスの書籍の紹介及び啓発媒体の配とパネル展示。</li> <li>③関係機関への啓発媒体の提供・後方支援</li> <li>こころまる塗り絵およびメッセージカードの提供(宮城野区家庭健康課で幼児健康診査来所者、宮城総合支所で児童館・幼稚園・保育園で配布)。</li> <li>宮城総合支所の健康教育で、啓発媒体(クリアファイル)を秋保中学校3年生に配布。</li> </ul>	○	健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	自殺対策強化月間である3月に、区内および近隣大学を訪問し、学生を対象とした心の健康づくりや相談窓口を掲載したリーフレット、ティッシュ等の配布を依頼する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月の自殺対策強化月間に、区内の商業施設(アリオ仙台泉店)やのびすく泉中央の中高生が利用するフロア、泉図書館、区内および近隣大学(4校)に啓発絆グッズやリーフレットを配布。</li> </ul>	○	泉区	家庭健康課
⑧青年期層を対象とした啓発	3月の春休み期間に青年期層の利用が多いアリオ仙台泉店、区内及び近隣大学ののびすく泉中央、泉警察署を訪問し、青年期の心の健康づくりの必要性について説明の上、相談窓口を掲載したリーフレットの配布を依頼する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アリオ仙台泉店に啓発リーフレット200部、区内および近隣大学へ啓発絆創膏を計250個、泉警察署に絆創膏100個を設置。図書館に絆創膏30個と啓発アルコール配合ウェットティッシュ100個設置。のびすく泉中央に啓発絆創膏とアルコール配合ウェットティッシュ各50個を配布。ハローワークに啓発アルコール配合ウェットティッシュ30個設置。</li> </ul>	○	泉区	家庭健康課
⑨ひきこもり講演会	広く市民一般を対象に、ひきこもりについての正しい知識の普及啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月の自殺対策強化月間に合わせて、区内の商業施設(アリオ仙台泉店)に啓発リーフレットと啓発絆創膏を各100部、区内および近隣大学へ啓発ふせんを計250個、泉警察署に絆創膏100個を設置。泉図書館では心の健康づくりに関するパネル展を実施し、併せて啓発リーフレットやグッズを配布した。のびすく泉中央の中高生が利用するフロアには、啓発ふせんとリーフレットを各50部配布。ハローワークに啓発リーフレット付き除菌ジェルを30個設置した。</li> </ul>		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
⑩若い世代の健康づくり	区内専門学校生を対象に子宮がん検診・20歳のデンタルケア検診・食育推進・心の健康づくり等に関する啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;再掲：重点1【1】(5)④&gt;</li> <li>専門学校6校に対し啓発媒体配布 心の健康づくり媒体 1,699部</li> </ul>		宮城野区	家庭健康課
⑪特定健診の結果を活用した睡眠啓発	国保特定健診の間診結果より睡眠で十分休養がとれていないと回答した40・50歳代男性に対し睡眠に関するリーフレット等を送付し、生活習慣病予防と心の健康に活かす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;再掲：重点1【2】(6)⑫&gt;</li> <li>国保特定健診受診者のうち対象者100人、加えて被災者74名に対し、適飲酒に関するリーフレット及び相談機関案内を送付</li> </ul>		宮城野区	家庭健康課

### 【3】被災者の心のケアの実施

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 被災者の心のケアの実施	①震災後の生活困りごとと、こころの健康相談会	自殺の要因の一つである経済的な問題を抱える人の多くが、抑うつ状態に陥っていることが多いことから、経済問題に関する相談と併せてこころの健康相談を実施し、生活再建に向けた一助とすることで自殺予防を図る。	・ 定例の相談会 （司法書士による司法相談と、精神保健福祉総合センター職員によるこころの相談）実施回数：11回、相談件数：39件 ・ 自殺予防週間、月間に併せた相談会 （弁護士による司法相談と、精神保健福祉総合センター職員によるこころの相談）実施回数：2回、相談件数：17件		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	②震災後の心身の体調管理やストレス・休養・睡眠についての働き盛り世代を意識した啓発	震災後の心身の体調管理やストレス等について、働き盛り世代を意識した啓発を行う。	・ こころの相談の普及啓発  <再掲：重点2【2】(1)⑤> 【パネル展示とリーフレット配布（区役所/イオンスタイル仙台卸町）】 ・ 自殺予防週間（9月）：配布部数687部 ・ 自殺対策強化月間（2～3月）：配布部数1,399部 ・ 女性の健康週間（2～3月）：配布部数606部  ・ 復興公営住宅入居世帯に対し、健康情報誌の発行 年4回、計2,057部	○	宮城野区 若林区	障害高齢課 家庭健康課
	③被災者の戸別訪問支援	震災後の心身の体調管理やストレス等について戸別訪問を通して状況を把握し、適切な支援を行う。	・ 継続支援世帯18世帯訪問・面接・電話支援件数合計93件  ・ 実51世帯、延64世帯  ・ 区職員訪問・来所相談延件数 891件  ・ 個別支援（訪問、電話）実績数 延べ453件 ・ そのほか復興公営住宅各戸にヘルスアップ通信(臨時号)等をポスティングし、気になる被災者には声がけを実施(延べ1,240部)  ・ 復興公営住宅 385件、地域在住者 9件、 ・ 訪問、電話、面接等により延べ394人の相談に対応した。  ・ 宮城県健康調査後の訪問 (K6:13点以上・治療中断・朝から飲酒など心身の健康面で気になる方) 41件	○	青葉区 青葉区 宮城野区 若林区 太白区 泉区	家庭健康課 宮総保健福祉課 家庭健康課 障害高齢課 家庭健康課 家庭健康課
	④震災こころのケア事業	震災の影響による様々な心の健康問題に対応するため、震災ストレスのハイリスク者等に対して、家庭訪問による個別支援や、被災者の支援をしている関係者に対して震災ストレスに関する啓発活動の実施	・ 震災ストレスのハイリスク者に対する各区保健福祉センターとの協働訪問 202件(延) ・ 災害時メンタルヘルス研修会(市内職員向) 実施回数：5回、参加者：延220名 ・ 災害時メンタルヘルス研修会(市内専門職向) オンデマンド配信 実施回数：1回、参加者：93名  ・ 年4回（4・7・10・1月）に心身の健康づくりに関する広報紙「からだおmoi」を復興公営住宅・防災集団移転地区・浸水地域の延48町内会・復興公営住宅に延6,904部を配布 <再掲：重点2【3】③> ・ 区職員訪問・来所相談延件数 891件  ・ 個別支援件数 延 915件(※障害高齢課分) ・ 個別支援件数 延 275件(家庭健康課分)・県の被災者健康調査 K-6 高値者  (再掲載) ・ 復興公営住宅 385件、地域在住者 9件、 ・ 訪問、電話、面接等により延べ394人の相談に対応した。  ・ 被災者交流支援事業「男の手習い教室（そば打ち教室・料理教室）」のメッセージカード配布時に、復興公営住宅に入居している男性宅へ訪問し健康状況を把握した。	○	健康福祉局 宮城野区	精神保健福祉総合センター 家庭健康課 障害高齢課
		地域支援者向け アルコール関連問題研修会	・ アルコール関連問題事例検討会：4回 延44人  ・ 地域支援者向け アクション関連問題研修会：1回 35人		若林区 泉区	障害高齢課 障害高齢課
	⑤定期的な交流会の開催	生活情報やメンタルヘルスに関するリラクゼーション、運動、参加者同士の傾聴・情報交換等の実施	・ 泉集いの会は令和2年度（震災後10年を機に）で終了。参加者はその後、別のグループに参加するなど交流を継続している。		泉区	家庭健康課
	⑥被災者健康診査事業	東北大学と共催でアンケート調査を実施。その結果も元に市民向けに講演会を実施	・ さんだい3.11メモリアル交流館を会場にパネル展を実施。 来場者数1,831名 資料配布数209枚		若林区	家庭健康課
	⑦自力再建した被災者が居住する地域へのこころの健康づくりの推進	自力再建した被災者が居住する地域において、自治組織や関係機関と連携し、地域全体のこころの健康づくりやコミュニティ形成を支援する。	・ 自力再建した被災者が居住する地域で、心のケア対策の一環として地域の関係機関からの情報収集や生活習慣病予防事業「いずみ青空ストレッチ&ウォーキング」を案内し、活動と交流の場を提供した。		泉区	家庭健康課

【4】その他の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) その他の取り組み	①自殺対策の総合的な取り組み	自殺対策推進センターにおいて、自殺の実態把握や、希死念慮のある方や、自殺未遂者、自死遺族等の相談に対して、専用回線での電話相談、来所・訪問による相談、弁護士・司法書士との連携による相談会を開催。	①相談・支援 ・電話相談 701件（うち新型コロナウイルス感染症に関する相談16件） ・自殺未遂者等ハイリスク者への電話面談や訪問等による支援 延べ140回 ・関係機関との情報共有や、助言・指導 延べ115件 ・司法と連携した相談会（定例開催 11回、相談件数：28件、自殺予防週間・月間に併せた開催 2回、相談件数17件） ②人口動態統計や警察庁統計を用い、本市の自死の実態について分析し、事業に反映する。		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	②来所相談、電話相談（はあとライン、ナイトライン）	来所や電話による、こころの悩みに関する相談を行う。	・来所相談 2,379人 ・はあとライン 3,239件、ナイトライン 8,526件、その他電話相談 1,298件		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	③自死遺族への支援	市内の自死遺族支援活動団体の継続的な広報及び活動の助成を行う。	・対象団体に補助金を交付（2団体×200,000円、1団体×117,000円）		健康福祉局	健康政策課
	④妊産婦・新生児訪問、育児ヘルプ家庭訪問支援事業（乳幼児健診、育児相談）	新生児訪問・育児ヘルプ家庭訪問事業（及び乳幼児健診・育児相談）により、産後うつや育児不安に対する相談支援を行う。	【訪問指導（延人数）】 ・妊産婦9,631人 ・新生児 7,348人 ・未熟児 733人 ・乳児 932人 ・幼児 1,599人 ・その他 1,570人 【育児ヘルプ家庭訪問事業】 ・育児ヘルパー利用時間数 4,261時間（利用延べ時間） ・専門指導員派遣 1,242回（延べ回数）  ・妊産婦・新生児訪問 1,924件 ・育児ヘルプ家庭訪問事業 277件 ・育児相談会 10回65人（保護者60人、乳幼児57人） 個別相談 栄養士48件、保健師42件 ・茂庭台育児相談 5回48人（保護者29人、乳幼児25人） 個別相談 栄養17件、心理5件、保健師16 ・東中田育児相談 3回6人（保護者3人、乳幼児3人） 個別相談 栄養2件、心理0件、保健師2件 ※コロナ感染者の多い時期と重なったため積極的に周知せず。  ・新生児訪問 延1,409件 ・育児ヘルプ家庭訪問事業 延144件		子供未来局	子供保健福祉課
	⑤「幼児健康診査における子どものこころの相談」及び「子どものこころの相談室」	各幼児健康診査における「こころとからだ問診票」による聞き取りと各区で「子どものこころの相談室」を実施	・1歳6か月児健康診査、2歳6か月児歯科健診、3歳児健康診査時に、問診票を用いて、保護者への聞き取りの実施 ・各区での子どものこころの相談室の開催（154件）問診票の配布・回収、幼児健診対象者への周知チラシ配布		子供未来局 各区	子供保健福祉課 家庭健康課 支所保健福祉課
	⑥こころの健康相談（精神保健福祉相談）	精神疾患の治療及び家族等からの相談、問題解決への支援を行うことにより、早期発見・治療、再燃防止を図る。また、住民の偏見を取り除き、精神疾患を持つ方が当たり前の市民生活を送ることができるよう援助する。	・こころの健康相談 159回開催・286件実施。		各区	障害高齢課 宮総保健福祉課
	⑦家族教室（家族のつどい）の開催	・精神障害者の家族が集まり、社会資源の活用について学んだり、家庭での対応の話し合いを行う。 ・アルコール・薬物関連問題を有する家族を対象に、ミーティングでの集団療法や心理教育、教室での講話や、当事者家族の体験談から回復について理解する。 ・ひきこもり状態の家族がいる市民を対象に、集団療法・心理教育的関わりを行うことで、心理的負担の軽減を図るとともに、適切な対応方法の習得ができるよう援助する。  精神障害者の家族が集まり、社会資源の活用について学んだり、家庭での対応の話し合いを行う	・アルコール・薬物家族ミーティング 実施回数：13回、参加者：28名（延） ・アクション家族教室 医師の講話・自助グループメンバー及び家族の体験談 実施回数：2回、参加者：10名（延） ・ひきこもり家族グループ 実施回数：7回（月1回※）参加者：59名（延） ※R3.4月、8月、1月、2月、3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止 ・ひきこもり家族教室 実施回数：6回、参加者：121名（延）  ・家族教室、家族勉強会、家族交流会等 32回開催、125人参加		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
	⑧市民が抱える高齢や障害に関する複合した課題や対応が困難な事例にも対応できるような相談体制の整備、職員のスキル向上の取り組み	市民が抱える高齢や障害に関する複合した課題や困難な事例について、総合相談窓口を設け、ワンストップでサービスを提供する。総合相談について、課内で医師を交えて定期的に事例検討を行い、助言を受けて今後の支援に活かす。	・こころの相談において指導医とのケースカンファレンス13件  ・精神保健福祉指導医SV：こころの健康相談において指導医からのSVを得た。（延べ従事者数125名） ・障害高齢課および保健福祉課合同での2課合同実践研修を行った。（全9回開催、延べ参加者169名）		青葉区	障害高齢課 宮総保健福祉課
	⑨子育て交流支援	転入者の多い地域で子育て交流会を開催する。	・開催形態を屋外に変更し、ウエルカム広場ミニ（原町・宮城野地区）を2回開催。保護者延59名、乳幼児延58名参加  ・ウエルカムパーティを開催予定だったが、実施なし		宮城野区 太白区	家庭健康課 家庭健康課
	⑩子育て関係機関のネットワーク推進	子育て支援者のネットワークづくりを推進する。（浸水地域の高砂地区含む）	・子育て支援者交流会（ハイブリッド形式）：1回、38名参加 ・虐待防止ネットワーク会議：5回 参加者166名（うち岩切1回23名）		宮城野区	家庭健康課
	⑪支援者間のネットワーク推進	アルコール関連諸問題について関係機関の連携を図る	・アルコール問題対策連絡会議の開催（※オンライン会議） 日時：令和4年2月16日 参加：17機関より20名 内容：「高齢者の飲酒問題について」		健康福祉局	精神保健福祉総合センター

	学童期から思春期に向けた子どもの心身の健康課題の共有し、解決に向けた連携の強化を図る	・学童期から思春期に向けた保健対策のための懇談会 1回開催 (区内小中学校養護教諭12校、児童相談所含め参加者34名)		青葉区	家庭健康課
	誰もが暮らしやすい地域生活を目指し、支援者が連携協働し適切な支援を提供するためのネットワーク作りの推進	①区障害者自立支援会議 ・実務者ネットワーク会議 1回 49人 ・相談支援事業所等連絡会 12回 延238人 ・全体協議会 1回 54人(委員含む)(※新型コロナの影響によりハイブリッド開催) ②地域ケア会議 ・区地域ケア会議 1回 参加者54人(委員含)(※新型コロナの影響によりハイブリッド開催) ※区障害者自立支援協議会全体協議会と合同開催 ・地域包括支援センター連絡会議 1回 ※区障害者自立支援会議相談支援事業所等連絡会と合同勉強会開催 ・介護予防のための地域ケア個別会議 3回		若林区	家庭健康課 障害高齢課
		①地域ケア会議 ・区地域ケア会議(障害者自立支援協議会全体会を含む)中止 ・介護予防のために地域ケア個別会議5回(6回予定していたが1回中止) 研修2回 ②障害者自立支援協議会 ・実務者ネットワーク会議5回 ・相談支援事業所連絡会5回 ・運営会議10回(主にリモートで開催) ③太白区高齢障害連携事業(太白丸ごと相談事業) ・西中田圏域出張相談4回(出張相談以外の説明会や打合せ6回) ・愛宕橋圏域実行委員会4回(実行委員会以外の打合せ10回)		太白区	障害高齢課
⑫依存症に関する人材育成	相談支援に従事する職員を対象に、依存症や関連問題についての理解や対応を学び、支援者のスキルアップを図る。	・依存症関連問題研修 実施回数:1回, 参加者:54名 講話:「アディクション問題についての地域における相談支援依」 北星学園大学社会福祉学部福祉臨床学科 教授 田辺等氏 ・月末スタッフ勉強会 実施回数:8回, 参加者:84名(延) 内容:医師講話,回復者からの体験談等		健康福祉局	精神保健福祉総合センター
⑬無料法律相談とこころの健康相談会	専門職(弁護士,司法書士,精神科医,臨床心理士等)による定期的な無料相談会を開催し,法律や生活問題等と心の健康にかかる相談を一体的に受ける相談会の実施	・月1回・土曜日,福祉プラザにて開催(個別面談方式) 新型コロナウイルスの影響により,1回中止・11回開催 153人 ※(社福)仙台いのちの電話への委託事業	○	健康福祉局	健康政策課
⑭こころの体温計	パソコンやスマートフォンから仙台市ホームページにアクセスすることにより利用できるセルフメンタルチェックシステムにより,自身の心の健康状態を知り,早期の相談窓口利用に繋げる	・アクセス数 45,390件 ※(株)エフ・ピー・アイへの委託事業(専用サイトの運営) ・サイト周知用リーフレットの配布 13,020枚	○	健康福祉局	健康政策課

## 【重点分野3】健康な心と身体を支える食生活

### 【1】健康を支える基本的な食習慣の形成

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課	
(1)	①妊産婦、乳幼児、生徒と保護者に向けた望ましい食習慣形成への啓発を強化する	①妊産婦、乳幼児の望ましい食生活についての積極的な啓発	母子健康手帳交付説明会、母親教室等での栄養講話 3～4か月育児教室、離乳食教室、幼児健診における健康的な食生活の啓発と情報発信	・母子健康手帳交付説明会：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大幅に縮小したものの、個別相談につなぐなど啓発の取り組みは継続した。個別相談8件 ・母親教室・両親教室等：30回開催、308人参加、個別相談41件 ・3～4か月育児教室：新型コロナウイルス感染症拡大防止のためR2.4.1から中止し、3～4か月育児教室の対象者へ資料送付や電話支援等を行っており、電話支援により実施した個別栄養相談：5件 ・離乳食教室：44回開催、346人参加、個別相談128件 ・せんだいTube・太白区チャンネルにて、管理栄養士による「食育情報」の動画を配信		子供未来局	子供保健福祉課
	②訪問、来所等による乳幼児の食生活相談	訪問栄養指導事業 育児相談等開設時の栄養・食生活相談 幼児食相談会の実施（青葉区） 幼児健診の間診票や健診結果、アンケート等の蓄積により食生活状況を把握し、個別栄養指導に生かす。	・訪問栄養指導事業（乳幼児・妊産婦） 186件 ・育児相談会等での相談 161件 ・電話・窓口等での食生活相談（乳幼児・妊産婦）584件、職員の訪問による個別栄養相談（乳幼児）10件		健康福祉局	健康政策課	
	③乳幼児の食生活に関する健康教育	出前講座、宅配講座など、地域に出向いての健康教育 1歳児の歯科保健教室における栄養指導 （宮城総合支所、泉区）	・健康教育の開催 14回 延べ72組、個別相談23件 ・1歳児歯科保健教室 5回、集団指導16組、個別相談9組（宮総・泉）		健康福祉局	健康政策課	
	④食に関する体験を通じた、食育を推進する機会の提供	幼児期の保護者を対象に、体験を通して子どもの時からの望ましい食習慣づくりを支援する講座を開催する。	・市民センターでの講座 1回6組		青葉区	家庭健康課	
	⑤健康的な食習慣についての講座の実施	児童クラブ・児童館を対象に朝食の大切さや間食、栄養のバランスについて等望ましい食習慣づくりに関する講座を開催する。	・依頼なし		青葉区	宮総保健福祉課	
	⑥地域に出向いた講座の実施	児童館等と連携して体験を通して「親子の食育教室」を実施し、食育の推進を図る。	・新型コロナウイルスの影響により親子の食育教室は中止。		宮城野区	家庭健康課	
	⑦子供の食育講座	子供を対象とした、調理体験等の講座	・児童館と連携し、3、4年生を対象におやつのおべり方についての食育講座を実施（参加者10名） ・同意を得られた児童館、児童センターにて飲料に含まれる糖分についてのパネル展示：3か所		泉区	家庭健康課	
	⑧父親育児参加推進事業のひびくにおける「パパ'sクッキング」他	父親が参加しやすい土日に、のびすく等において、下記を目的とした料理教室を開催する。 子供とのふれあいを食育から感じてもらう。 料理をすることにより父親の育児参加を進める。 母親と子供たちが楽しめる場（父親の料理、サロン）を提供する。	・令和3年度はコロナウイルス感染症の影響から開催見送り （当事業は仙台市ガス局との共同事業としてガスサロンでの実施を予定していたが、燃料費高騰等の状況を受けてガス局から開催を見送るとの話しがあり、市民センター等に場所を替えて実施できないか検討したものの、コロナウイルス感染症の影響から開催には至らなかった）		子供未来局	総務課	
	⑨保育所における食育の充実	各施設において、食育計画に基づいた活動計画を作成し、保育の中で食育を展開する。 毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける。 各施設での食育活動を通して、朝食をバランスよく食べる子が増えることを目指す。	・食育計画に基づき活動計画を作成し保育の中で展開。 全施設で食育計画作成 公立33施設 私立190施設 食育活動数（衛生面含め） 公立989回 延29,008人、私立 5,530回 延119,187人 朝食をバランスよく食べる働きかけ 公立 66回 延4,386人 私立578回 延31,488人		子供未来局	運営支援課	
	⑩保育所での畑作りとその収穫物を利用した食事作り	子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる経験までつなげる。 収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。	・畑作りの実施 畑作り計画 公立29施設 私立157施設 ・収穫物を取り入れたメニュー 公立29施設 920回 私立184施設 4,177回 ・食した人数 公立 延48,035人 私立 延331,264人		子供未来局	運営支援課	
	⑪学校における「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨	食習慣だけでなく、生活習慣・運動習慣と関連させて、総合的・体系的に健康教育を進めていく。	・学校だよりや保健だより、給食だよりなどを通して早寝・早起き・排便習慣等の生活習慣の大切さや主食、主菜、副菜、汁物のそろった朝食の啓発を行った。		教育局	健康教育課	
	⑫学校における「食に関する指導」の充実	「食に関する指導推進研修会」を開催し、各学校における手引の活用を推進し、食に関する指導の充実を図る。	・「食に関する指導の手引改訂版（平成26年）」を活用し、各教科における食に関する指導や給食時間の指導の充実を図った。 ・「食に関する指導推進研修会」を開催し、「SDGsと食育」と題して外部講師が講演を行い、食に関する指導の充実を図った。		教育局	健康教育課	
	⑬児童生徒の保護者への啓発	健やかな体の育成プランの取組として、家庭での食事の改善や「共食」のすすめなど、食生活の充実に向けた取組を行う。	・献立表や給食だよりなどを通じて、望ましい食習慣形成の啓発を行った。		教育局	健康教育課	
	⑭給食試食会や調理講習会の実施	各学校における保護者対象の給食試食会や給食センターでの市民向けの調理講習会を実施し、体験を通して食育の推進を図る。	・一部の学校では、感染対策に留意し給食試食会を行った。給食センターでの調理講習会は中止となった。		教育局	健康教育課	
⑮研修会による食育の推進	健康教育研修会として食育に関する研修会を実施する。	・せんだいっ子健康セミナー（健康教育研修会）を実施した。		教育局	健康教育課		
⑯食に関する体験を通じた、食育を推進する機会の提供	食育に関わる地域施設や食育活動団体を対象に情報提供や支援を実施し、地域での食育を推進する	・食育等に関するアンケート実施 130施設（青葉区：106 宮総：24） 対象：青葉区管内保育施設の食育担当者等 内容：新型コロナウイルス流行による給食業務や食育活動への影響、施設に所属する子どもの健康状態や生活習慣への影響等	○	青葉区	家庭健康課 宮総保健福祉課		



		⑬食育サポーター養成と支援	地域で活動する食育ボランティアの養成 食育サポーターグループが知識や情報の習得、調理技術を学ぶことができるよう、スキルアップ講座を開催する。 食育サポーターの活用（地区健康教育、スーパーマーケットとの連携事業、仮設住宅での講座、幼稚園と連携した講座）	・新型コロナウイルスの影響により食育サポータースキルアップ講座は中止。 ・おやつレシコンテストでの調理、審査員として2グループ6名参加。	○	宮城野区	家庭健康課
		⑭食育関係研修会	子どもの健康づくりや食育に関わる関係機関（保育所・保育園・幼稚園・小学校）が、子どもを取り巻く食や健康の課題を共有し、連携しながら食育を推進していくため、研修会や情報交換会等を行う。 食育関係機関、関係者のネットワークづくりをすすめるため、対象施設（保育所・保育園・幼稚園・小学校）の食育担当者を対象に、施設での食育の取組事例報告や意見交換ができる研修会を継続開催する。	・7月実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。	○	太白区	家庭健康課 秋総保健康福祉課
		⑮学校・保育所・地域栄養連絡会の開催	各機関における食育の取り組みや健康課題等について共有し、地域での食育や健康づくりを推進する	・1回開催（保育所1施設、小学校2校、中学校1校参加）	○	太白区	秋総保健康福祉課
		⑯食育ボランティア団体を活用した食育の推進	児童館での健康教育、食育イベント等で、食育ボランティア団体を活用し、地域に向け食育の情報を発信する。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施せず。	○	泉区	家庭健康課
		⑰地域と共に育む子どもの健康づくり事業	児童館と連携し、食生活、歯と口、喫煙防止をパッケージとした啓発により、学齢期からの望ましい生活習慣確立と、保護者への波及をねらった講座を開催する。	・児童館6か所（富沢、郡山、柳生、茂庭台、大野田、上野山）、1保育所（袋原おおぞら）、1小学校（四郎丸）計666人へ健康教育を実施し、保護者向けパンフレットを配付。		太白区	家庭健康課
		⑱幼児食育連携事業	幼稚園と連携した食育プログラム（保護者に対する講演会、食育通信の配布、食育DVDの作成・配布、食育DVDを活用した園児への食育）の実施	・保育園2施設、幼稚園2施設と連携し、野菜食育プログラムを実施し、野菜摂取を推進した。4施設279名		太白区	家庭健康課
(2)	青年期における健康的な食生活の重要性と改善への啓発を強化する	①大学生の食育プロジェクト	大学生との協働により、市民、特に若い世代の食の課題を共有し、関心を高めるための取り組みを企画する。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためワークショップは実施せず。 ・昨年度事業で作成のレシピ集「仙台市民・学生が考えた健康お役立ちレシピ」を大学の学生向けに配布した。 3大学 250部		健康福祉局	健康政策課
		②若い世代の健康づくり支援事業	管内大学の新生入生や、職員を対象とし、若い世代の食を含めた健康的な生活習慣の獲得につなげるための健康教育を実施する。  区内専門学校生を対象に食育推進に関する啓発を行う。	・東北工業大学新生123名へ健康的な食生活の健康教育を実施。 ・東北工業大学文化祭にてポスター掲示、レシピ等124部配布。 ・東北工業大学職員31名に健康教育を実施。  <再掲：重点1【1】(5)④> ・専門学校6校に対し啓発媒体配布 検診啓発・食育推進・受動喫煙防止リーフレット		太白区	家庭健康課
		③管内大学での食育啓発活動	管内大学、大学生協との協働により、大学祭やイベントで健康的な食生活について啓発する。	・東北生活文化大学：若い世代の食生活の課題や仙台市の取り組みなどを職員がレクチャーし、食に関するニュースペーパーを学生が作成。活用について話し合った。（参加者12名）		泉区	家庭健康課
		④地域と連携した食育活動	地域と連携を図り、若い世代の健康的な食習慣形成を目指し、情報を発信する。	・太白区坪沼地区と連携して作成した動画4本をせんだいTube、太白区チャンネルで配信継続。 動画視聴回数せんだいTube146回、太白区チャンネル507回		太白区	家庭健康課
		⑤減塩のための啓発事業	循環器疾患や様々な生活習慣病の原因となる塩分摂取について、イベント、講座、推定摂取量測定を通し、減塩のための啓発を行う。	・お手軽と塩チェック 年3回 24人 ※新型コロナ感染拡大防止により、イベント3回、講座1回中止		仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター
		⑥Facebookによる食の情報発信	健康政策課Facebookページ「仙台伊達なキッチン-だてきち」を立ち上げ、健康的な食生活を実践するための情報をコラムやレシピにより配信する。	・毎週1回コラム、レシピの配信と事業の紹介等の内容を随時配信した。 配信状況：レシピ32回、コラム17回、その他6回 閲覧合計13,712回	○	健康福祉局	健康政策課
		⑦レシコンテストの実施	長期化するコロナ禍の中、在宅時間を活用した食育推進を図るため、区内専門学校と連携のもと野菜を使った「おやつレシコンテスト」を開催し啓発に活用する。  市民が考えた健康的な食事のレシピを募集し、「健康お役立ちレシコンテスト」を実施する。その内容を市民に還元することで、市民が主体となる健康的な食習慣づくりを推進する。	・レシピ応募数 5作品 ・3歳児健診来所親子による投票審査、関係機関（のびすく）・食育サポーター・区長副区長による実食審査 ・入賞レシピによる食育啓発：区内児童館20か所にレシピ送付、区ホームページ・仙台市LINE（VOOM）・健康政策課Facebookに掲載  ・「よく噛んで食べよう」早食い防止の野菜しっかりレシピ部門と「しっかり食べても塩eco」塩分控えめの主菜レシピ部門を開催（募集期間9月15日から12月20日、審査1月）し、最優秀賞2作品、優良賞2作品、特別賞8作品を決定。ホームページ、健康政策課Facebookで紹介。令和4年度にレシピ集を作成予定。	○	宮城野区	家庭健康課
					○	健康福祉局	健康政策課

## 【2】高齢期の健康を支える食生活の実践支援

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課	
(1)	高齢者のフレイル予防の視点から栄養・身体活動等の関連性をふまえ、食事の重要性についての啓発と支援を強化する	①高齢者の食生活に関する地域健康教育 ②介護予防運動サポーター事業における健康教育 ③食生活改善推進委員会における研修 ④シニア世代向け介護予防栄養講座	町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のサロン等を対象とした、高齢者の栄養に関する健康教育 介護予防運動サポータースキルアップ研修会での、健康的な食生活についての講話 サポーターを通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。 食生活改善推進委員会の地区研修会で低栄養予防についての講話・調理実習を行い、推進員を通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。 概ね65歳以上の方に対し、栄養士による栄養講話や調理実習を実施することで、高齢期における栄養バランスのとれた食事について啓発を行い、食生活の向上及び食の自立を目指す。	・健康教育の開催 12回 193人  ・介護予防運動サポータースキルアップ研修会での食生活講話の実施 2回 34人  ・新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点より開催を見合わせた。  ・7回開催 延べ125人		健康福祉局 健康福祉局 青葉区 健康福祉局	健康政策課 健康政策課 宮総保健康福祉課 地域包括ケア推進課

	⑤元気応援教室（通所型短期集中予防サービス）	要支援1、2と判定された方、または65歳以上で豊齢力チェックリストにより事業対象者と判定された方に対して、運動機能、口腔機能向上に加えて、栄養改善のための講話を複合的に組み合わせた介護予防プログラムを短期集中的にデイサービスセンターやフィットネスクラブ等への通所により提供する。	・元気応援教室 73人（第3四半期分までの実績） ・モデル事業 15人（第4四半期分までの実績）		健康福祉局	地域包括ケア推進課
	⑥訪問型短期集中予防サービス	要支援1、2と判定された方、または65歳以上で豊齢力チェックリストにより事業対象者と判定された方に対して、通所でのサービス利用が難しい場合に看護師・栄養士・歯科衛生士等が介護予防を目的とした訪問を行う。	・利用者 5人 延べ訪問回数 14回		健康福祉局	地域包括ケア推進課

### 【3】その他の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) その他の取り組み	①ホームページ等を活用した食の情報発信	市、区のホームページや、健康づくり情報コーナーを活用した、健康づくりや生活習慣病予防等、食に関わる情報発信	・市・各区のホームページの食育ページにて、食育関連情報や栄養成分表示の活用、おすすめレシピの紹介、関係機関へのリンク等の内容を掲載。随時更新。	○	健康福祉局	健康政策課
	②食育月間、健康増進普及月間行事、地域のイベント等を活用した啓発	市政だよりへの記事掲載、パネル展示、資料、レシピ、啓発物の配布等により、市民に広く啓発	・食育月間に合わせ、パネル展の開催。合わせて食に関する資料の配布を行った。食育月間パネル展 8回、資料配布 延2502部 ・食育の日に合わせ、庁内放送や資料配布を行った（庁内放送 延べ55回 資料配布数 1292部） ・健康増進普及月間事業におけるパネル展の実施（延べ10回 資料配布数 2118部） ・区民まつりでの食育啓発 1回 ・市政だより「せんだいレシピ帖」でのレシピ掲載12回		健康福祉局	健康政策課
	③各市民センターにおける関連講座等の実施	児童・生徒、子育て世代から壮年期までのあらゆる世代、また男性を対象とした、食に関する講座や調理実習などを通して、健康的な食生活に対する興味・関心を深め、実践するきっかけ等を学ぶ講座を実施する。	・20館で21事業実施し、延べ2,858人が参加		教育局	生涯学習支援センター
	④食肉の生食等、食習慣の変化により増加している食中毒などを未然に防止するための情報発信	インターネットホームページや市政だより、パンフレット等で広く市民に情報を提供する。 乳幼児健診時に子育て世代にパンフレットを配布したり、市政出前講座で説明することにより、特に重症化しやすい小さな子どもや高齢者をこれらの健康被害から守る。 市民向けの食品衛生講習会を実施する。 せんだい食の安全サポーター会議において、食品衛生情報を提供する。 せんだい食の安全情報アドバイザーによる食品衛生普及啓発活動を実施する。 食品の安全性に関する市民向け講演会を開催する。	・市HPでの啓発 ・市政だより6月号に啓発記事掲載 ・パンフレットの配布：1478部 ・市政出前講座：2回、25名 ・市民向け食品衛生講習会：21回、170名 ・せんだい食の安全サポーター会議：4回実施（書面開催） ・せんだい食の安全情報アドバイザーによる食品衛生普及啓発活動：新型コロナウイルス拡大防止のため中止 ・食品の安全性に関する市民向け講演会：新型コロナウイルス拡大防止のため中止		健康福祉局	生活衛生課
	⑤地域活動団体と短大生との連携による健康レシピを通じた啓発	重点地域において、地域活動団体・短大生と連携し、地場産品等を活用した健康レシピを作成し、広く配布する。	・1回発行 配布数350部	○	若林区	家庭健康課
	⑥スーパーにおける食を通して健康づくりに関する啓発	重点地域において、スーパーで市販総菜を活用したバランスよい食事例の掲示や旬の食材を使ったレシピ等を配架。	・市販総菜を活用したバランスよい食事例の掲示 R4.1~3 ・レシピ等の配架 延400部	○	若林区	家庭健康課
	⑦食で健康サポート店推進事業	食で健康サポート店（栄養成分表示、バランスメニュー、野菜たっぷりメニュー、塩エコメニュー）の参加店を増やす。 市民に、食で健康サポート店参加店を紹介すると共に、栄養表示の活用方法を周知することで、食生活に関する情報を発信する。	・登録店舗数 86店舗（令和4年3月末時点）	○	健康福祉局	健康政策課

【重点分野4】生きる力を支える歯と口の健康づくり

【1】子どものむし歯の地域差、個人差の解消

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 乳歯萌出期から学齢期までの連続したむし歯予防対策推進に向けた環境を整備する	①フッ化物歯面塗布助成事業 ②3歳児カリエスフリーの推進	歯の生え始めからの継続的な実施により、むし歯予防に効果的とされる、フッ化物歯面塗布の初回利用を公費助成することにより、低年齢からのむし歯予防対策の普及啓発を図る。 3歳児カリエスフリー推進の向け、8～9か月児乳児健康診査において小児科医から「☆せんだい☆でんたるノートF」等を配布し、乳歯の生え始め時期からの取り組みの重要性を啓発する。 育児グループ、児童館・児童センター、子育て支援室等との連携による歯科健康教育を行い、むし歯になりにくい生活習慣の確立と歯と口の健康づくりの実践を支援する。 小規模保育事業施設等を中心に乳歯萌出期からの歯と口の健康づくりの重要性を周知するとともに、カリエスフリーを目指す。 1歳児歯科保健教室「歯ッピー教室」を実施し、むし歯予防と食事やおやつの話、歯科健康診査と仕上げみがきの練習、フッ化物体験等を実施する。 「すくすく育児相談」等のなかで、歯科講話・相談を実施し、むし歯になりにくい生活習慣の定着を支援するとともに、乳歯萌出期からの、かかりつけ歯科医における定期健診や予防処置などを勧奨する。 「母と子の健康相談」や「児童館等連携事業」を実施し、健康的な食習慣の基盤づくりや望ましい生活習慣や歯科保健行動の定着を支援する。 幼児健診に従事する小児科医・歯科医他、多職種による懇談会においてカリエスフリー推進の進捗状況等について情報を共有する。 児童館や子育て支援センターでの健康教育での子供の歯と口の健康づくりの啓発。 「すくすく育児相談」における個別の健康教育の実施。	・フッ化物歯面塗布助成事業受診者数 3163人	○	子供未来局	子供家庭保健課
			・3歳児カリエスフリー推進に係る媒体作成及び保護者への配布 「せんだい☆でんたるノートF」「8-9か月のお子さんの保護者の方へ」各14,000部作成		子供未来局	子供家庭保健課
			・歯科健康教育 3回23名 支倉児童館1回4名・貝ヶ森児童館1回13名・台原児童館1回6名	青葉区	家庭健康課	
			・子育て支援センター：歯科保健教室…4回-43人 ・児童館等：歯科健康教育…3回-43人	青葉区	宮総保健福祉課	
			・健康教育：2回5名	宮城野区	家庭健康課	
			・サロン2回22人（南材木町児童館16人、のびすく若林6人）子育て支援施設9回28人（荒井マヤ2回2人・蒲町保2回14人・タナ保2回2人・のびすく1回6人・南小泉保2回4人）	若林区	家庭健康課	
			・健康教育 4回17人 子育て支援センター 3回14人、のびすく 1回3人	太白区	家庭健康課	
			・地区健康教育5回(児童館4回/のびすく泉1回)-25人	泉区	家庭健康課	
			・啓発文書送付 94施設 小規模保育園32施設/保育ママ11施設/事業所内保育7施設/ 企業主導型保育12施設/認可外保育9施設/児童館20施設/児童発達支援センター3施設	青葉区	家庭健康課	
			・管内小規模施設17ヶ所・企業主導型11施設（事業概要でんたるノート等配布）	若林区	家庭健康課	
			・子育て支援センター：歯科保健教室…4回-43人 ・児童館等：歯科健康教育…3回-43人	青葉区	宮総保健福祉課	
			・岩切すくすく育児相談：1回2名 ・高砂すくすく育児相談：2回7名 ・歯科相談：11名（電話10名/来所1名）	宮城野区	家庭健康課	
			・母と子の健康相談9回7人（センター3人、七郷保健センター4人、六郷市民センター0人）	若林区	家庭健康課	
			・幼児健診懇談会1回28名	青葉区	家庭健康課	
			・幼児健診懇談会：1回26名	宮城野区	家庭健康課	
・幼児健診懇談会1回7人	若林区	家庭健康課				
・1回26人	太白区	家庭健康課 秋総保健福祉課				
・幼児健診懇談会：1回-25人	泉区	家庭健康課				
・泉すくすく育児相談：4回-11人	泉区	家庭健康課				
③子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業	児童館等の子育て支援施設と地域課題を共有し、解決のための教室等を一緒に企画し実施する。	・児童館における生活習慣病予防事業：4児童館139人（六郷児童館43人、サテライト26人、遠見塚児童館41人、南小泉児童館29人） ・児童館だより啓発記事掲載：4児童館	○	若林区	家庭健康課	
④離乳食教室や乳幼児健診及び事後指導等における歯科保健指導	各種教室や乳幼児健診等での保健指導の充実を図り、むし歯発症リスクを減らす。 また、むし歯ハイリスク児への事後指導等で継続支援を行う。	・各種教室や乳幼児健診等での保健指導の充実を図り、むし歯発症リスクを減らす。 また、むし歯ハイリスク児への事後指導等で継続支援を行う。		青葉区	宮総保健福祉課	
		・離乳食教室 6回5名 ・幼児健診 1.6-37回1340名/2.6-38回1323名/3.7-37回1497名 ・事後指導 1.6事後9名/2.6事後17名/3.7事後1名		青葉区	家庭健康課	
		・幼児健診：1.6健診40回14934名、2.6健診1356名、3.7健診1390名 ・幼児健診歯科事後指導：1.6事後73名、2.6事後49名 ・離乳食教室：申込数93組 ・3-4か月児育児教室：1530名※新型コロナウイルス感染症のため、教育文書発送のみ		宮城野区	家庭健康課	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食教室 7回57名</li> <li>・幼児歯科健診 1.6-28回1034名/2.6-28回1149名/3.7-30回1112名</li> <li>・幼児歯科健診事後指導 1.6事後111名/2.6事後268名</li> </ul>		若林区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食教室6回 83人</li> <li>・1.6健診-42回 1844人 ・2.6健診-42回 1832人</li> <li>・3歳児健診-45回 1942人</li> <li>・幼児歯科健診事後指導 211人 (1.6健診161人 2.6健診50人)</li> </ul>		太白区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1.6健診事後:文書136人 ・2.6健診事後:文書76人</li> </ul>		泉区	家庭健康課
⑤幼児健診におけるフッ化物応用の啓発	幼児健診や地域健康教育等でフッ化物に関する正しい知識の提供と活用方法を周知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域健康教育 &lt;再掲:重点4【1】(1)②&gt;</li> <li>・幼児健診 &lt;再掲:重点4【1】(1)④&gt;</li> <li>・離乳食教室 &lt;再掲:重点4【1】(1)④&gt;</li> </ul>		青葉区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児歯科健診(来所) 62回1690人 (個別健診なし)</li> </ul>		青葉区	宮総保健福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児健診で啓発リーフ配付(送付)</li> <li>幼児健診:1.6健診40回1493名, 2.6健診1356名, 3.7健診1390名</li> <li>&lt;再掲:重点4【1】(1)④&gt;</li> </ul>		宮城野区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児健診 1.6-28回1034名/2.6-28回1149名/3.7-30回1112名 *すべて集団健診で再開</li> <li>&lt;再掲:重点4【1】(1)④&gt;</li> </ul>		若林区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育 4回17人 &lt;再掲:重点4【1】(1)②&gt;</li> <li>・離乳食教室 6回83人 &lt;再掲:重点4【1】(1)④&gt;</li> <li>・幼児健診 129回 5618人 &lt;再掲:重点4【1】(1)④&gt;</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策で集団指導が実施できないため、健診会場で動画を放映した。</li> </ul>		太白区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1.6健診:35回-1385人 ・2.6健診:36回-1311人 ・3歳児健診36回-1471人</li> </ul>		泉区	家庭健康課
⑥ハイリスク児及び保護者への健康教育	母子保健事業(地区支援者や要フォロー児の教室)や障害児施設等との連携により、ハイリスク児の保護者に向けた歯科保健の健康教育を実施する。 (新型コロナウイルス感染予防の対策のため、春季の歯科検診は中止)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談会(まめっこの会) 5回0名(個別対応)</li> <li>・障害児施設歯科保健指導 2回17名</li> </ul>		青葉区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児歯科健康診査事後指導(文書教育・電話) -96人</li> </ul>		青葉区	宮総保健福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児健診歯科事後指導:1.6事後73名, 2.6事後49名&lt;再掲:重点4【1】(1)④&gt;</li> <li>・障害児施設保護者健康教育 4回52名(田子西たんぼぼホーム2回20名, なかよし学園・あおぞらホーム2回32名)</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響により、歯科健診は中止。</li> <li>※なかよし学園・あおぞらホームの秋期歯科健康教育はWebを使用。</li> </ul>		宮城野区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科健診中止</li> <li>文書指導による歯科健康教育1施設35部(上飯田たんぼぼホーム)</li> </ul>		若林区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児施設は主管課(障害者支援課)により、新型コロナウイルス感染予防の対策のため、歯科検診・ブラッシング指導は中止、歯科保健指導(保護者等への講話)のみの実施の判断あり。</li> <li>・3施設で4回保護者を対象に歯科講話実施。(77人)</li> </ul>		太白区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者施設(サンホーム)にて、4回(31人)に健康教育を実施。</li> </ul>		泉区	家庭健康課
⑦保育所・幼稚園等歯科健康診査集約事業におけるフッ化物応用の啓発と利用促進	保育所・幼稚園・認定こども園への歯科健診結果還元にあわせて、フッ化物応用の啓発とフッ化物洗口実施施設への支援を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・55施設 保育所(園)35施設/幼稚園11施設施設/認定こども園9施設</li> </ul>	○	青葉区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・18施設(保育所:12, 幼稚園:4, 認定こども園:2)</li> <li>(洗口実施施設:13, 洗口未実施施設:5)</li> </ul>	○	青葉区	宮総保健福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内61施設 歯科健診分析結果報告61施設</li> <li>(保育所(園)34施設, 幼稚園15施設, 認定こども園12施設)</li> </ul>	○	宮城野区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内保育所・幼稚園施設 46施設</li> <li>・歯科健診事後指導文書作成・配布 46施設</li> </ul>	○	若林区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内68施設へ歯科健診結果還元</li> <li>(市立保育所10施設 私立保育所34施設 幼稚園15施設 認定こども園9施設)</li> </ul>	○	太白区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科健診結果還元:53施設-6263人</li> </ul>	○	泉区	家庭健康課
⑧フッ化物洗口導入支援事業	フッ化物洗口を希望する保育所・幼稚園に対し、技術支援及び必要物品の補助を行う(研修会・説明会の開催等)フッ化物洗口マニュアルを活用し、円滑な導入と実施を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問等19回, 青葉ブロック所長会1回8名</li> </ul>	○	青葉区	家庭健康課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・18施設(洗口実施施設薬剤管理:13, 洗口未実施施設打ち合わせ:5)</li> <li>保護者研修:洗口実施施設2施設-39人</li> </ul>	○	青葉区	宮総保健福祉課

			・フッ化物薬剤管理調査等訪問：52回	○	宮城野区	家庭健康課
			・新規施設 0施設、保護者説明会 2回 31人（蒲町17・木ノ下14）、職員説明会 0回 ・実施調査等訪問 24回	○	若林区	家庭健康課
			・新規参加施設 1件 ・職員研修会 1回5人 ・実施状況調査等訪問 31回	○	太白区	家庭健康課
			・洗口指導0回 ・薬剤管理指導16回	○	泉区	家庭健康課
⑨私立幼稚園・私立保育所・認定こども園フッ化物洗口事業継続実施補助金事業	フッ化物洗口導入支援事業に参加した施設を対象として、洗口開始2年目以降の継続実施にかかる費用の一部を助成する。		・私立幼稚園・認定こども園 交付園数…46施設、参加児童数…4歳児1,538人 5歳児1,802人 ・私立保育所 交付園数…75園、参加児童数…4歳児1,150人 5歳児1,303人	○	子供未来局	認定給付課
⑩市立保育所フッ化物洗口事業	市立保育所の4、5歳児を対象に、フッ化物洗口事業を実施し歯と口の健康を保ち、心や身体の健康づくりを図る。		・公立保育所35施設において、4歳児、5歳児において実施した。 実施人数は4歳児575人、5歳児631人	○	子供未来局	運営支援課
⑪市立幼稚園フッ化物洗口事業	市立幼稚園の年長児を対象に、フッ化物洗口事業を実施し歯と口の健康を保ち、心や身体の健康づくりを図る。		・市立幼稚園の年長児を対象に、フッ化物洗口事業及び2月に年中児の保護者を対象に洗口説明会を実施した。	○	教育局	健康教育課
⑫保育士研修会、保育所長会、民間保育園長会、認定こども園施設長会における啓発事業	保育士や保育所長等を対象に歯科保健活動推進にかかる研修会等を開催する。		・青葉ブロック所長会 1回8名 <再掲：重点4【1】(1)⑧>	○	青葉区	家庭健康課
			・公立保育所ブロック所長会歯科講話：1回6名	○	宮城野区	家庭健康課
			・ブロック所長会議 0回	○	若林区	家庭健康課
			・保育所長会 1回 10人	○	太白区	家庭健康課
			・保育所長会1回-4人	○	泉区	家庭健康課
⑬地域における学校懇談会の開催	保健所支所において、地域の学校関係者との懇談会を開催し、取り組みの方向性を共有する。		・学校保健懇談会中止	○	若林区	家庭健康課
⑭小学校における歯科保健活動の推進	学校保健に係る懇談会を通じて、学校関係者と取り組みの方向性を共有する。学校における健康教育の充実のため、啓発媒体を貸し出す。		・なし	○	若林区	家庭健康課
⑮学齢期の歯と口の健康づくり推進	児童・生徒の健康課題に応じた取り組みを学校や関係者と連携して実施する。 児童・生徒の健康課題や、壮年期の健康課題に応じた内容の、健康教育を学校と連携して実施する。 児童館に来館している児童を対象に歯科健康教育を行い、来館児童の口腔に対する健康意識を向上させるとともに児童館職員への啓発を図る。		・PTAフェスティバルWEB版において、啓発媒体を掲載		健康福祉局	健康政策課
			・鶴ヶ谷東小学校 歯科健康教育 3.4年生68名、就学時健診子育て講座 保護者23名 <再掲：重点1【1】(1)②>		宮城野区	家庭健康課
			・食生活、歯と口、防煙をパッケージ化した人形劇のDVDを作成し、児童に対し、出前健康講座を児童館と連携して実施。 ・児童館6か所（大野田、茂庭台、富沢、柳生、上野山、郡山）、1小学校四郎丸）、1保育所（袋原あおぞら）計666人へ健康教育を実施し保護者向けパンフレットを配付。		太白区	家庭健康課
⑯学校歯科保健研修会の開催	養護教諭を対象に学校歯科保健における基礎的な研修会を開催する。		・新規採用、5年経験者、10年経験者の養護教諭を対象に研修を実施。内容は、歯科保健の最新情報、けがの応急手当等。	○	教育局	健康教育課
⑰歯の衛生モデル校事業	歯の衛生モデル校における先進的な取組を市立学校に向けて紹介する。（歯の衛生モデル校を3校認定）		・6月の歯と口の健康週間市民のつどいはWEB開催となった。歯の衛生モデル校3校の取組状況をWEBに掲載した。	○	教育局	健康教育課

## 【2】若い世代からの歯周病予防対策の強化と口腔機能向上の啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 歯周病予防に向けたセルフケア知識、技術の獲得支援と専門的ケアの利用を促進する	①全国小学生歯みがき大会への参加	全国小学生歯みがき大会（主催：（一社）日本学校歯科医会）への参加校の小学5年生を対象に歯と口の健康づくりの啓発と歯間部清掃器具を使用した歯みがきの実践支援を行う。	・全国小学生歯みがき大会（主催：（一社）日本学校歯科医会）への参加校の小学5年生を対象に歯と口の健康づくりの啓発と歯間部清掃器具を使用した歯みがきの実践支援を行った（参加校31校）。		教育局	健康教育課
	②歯肉炎予防対策モデル事業	地域保健とモデル中学校との連携により、中学生の歯肉炎予防を啓発する。	・情報共有のみ（子育て支援ネットワーク会議、学校保健・地域保健連絡会議）		青葉区	宮総保健福祉課
		防煙対策を進めるとともに歯肉炎予防を啓発する。	・薬物乱用防止、防煙キャンペーン11月17日は中止となった。（仙台市教育委員会共催）		教育局	健康教育課
			・食生活、歯と口、防煙をパッケージ化した人形劇のDVDを作成し、児童に対し、出前健康講座を児童館と連携して実施。 ・児童館6か所（大野田、茂庭台、富沢、柳生、上野山、郡山）、1小学校四郎丸）、1保育所（袋原あおぞら）計666人へ健康教育を実施し保護者向けパンフレットを配付。		太白区	家庭健康課
③青年期における歯と口の健康づくり	専修学校、短期大学、高等専門学校、大学の健康教育において、就職活動前の学生を対象に口腔ケアの必要性の啓発と実践を支援する。		・若い世代の健康づくりニュースレター配付 専門学校24校、関係機関2か所		青葉区	家庭健康課

			<再掲：重点1【1】(5)④> ・20歳のデンタルケア検診啓発リーフ配布：専門学校6校1577部 ・東北工大 1年生対象講話 1回123人		宮城野区	家庭健康課
			・歯科相談 2名（来所 1名・電話 1名） ・1回-17人（南吉成町内会） ・健康生活講座 歯科講話 1回9名 ・歯科相談 1名（電話1名/来所0名） ・歯科相談 4人（電話 3人・来所 1人） ・ララガーデンで健康相談2回開催（17人参加）		太白区	家庭健康課
④成人期の各種相談・教室の充実	成人市民を対象とした健康相談・教室において、歯と口の健康のセルフケア知識・技術を支援し、歯と口の自己管理能力の向上を推進する。		・健康生活講座 歯科講話 1回9名 ・歯科相談 1名（電話1名/来所0名） ・歯科相談 4人（電話 3人・来所 1人） ・ララガーデンで健康相談2回開催（17人参加） ・介護予防サポーター研修：4回-91人 ・地区健康教育：1回-12人 ・健康づくり講話(歯科講話)：1回-15人 健康づくり相談(歯科相談)：6人		青葉区	家庭健康課
			・歯科相談 1名（電話1名/来所0名） ・歯科相談 4人（電話 3人・来所 1人） ・ララガーデンで健康相談2回開催（17人参加）		青葉区	宮総保健福祉課
			・健康生活講座 歯科講話 1回9名 ・歯科相談 1名（電話1名/来所0名） ・歯科相談 4人（電話 3人・来所 1人） ・ララガーデンで健康相談2回開催（17人参加）		宮城野区	家庭健康課
			・介護予防サポーター研修：4回-91人 ・地区健康教育：1回-12人 ・健康づくり講話(歯科講話)：1回-15人 健康づくり相談(歯科相談)：6人		太白区	家庭健康課
			・介護予防サポーター研修：4回-91人 ・地区健康教育：1回-12人 ・健康づくり講話(歯科講話)：1回-15人 健康づくり相談(歯科相談)：6人		太白区	家庭健康課
⑤検診体制の整備	青年期の受診率向上に向けた20歳のデンタルケア事業の未受診者対策を進める。	・仙台市広報課Facebookにて情報発信 ・ポスト-2,600部作成 ・配付先：医療機関（医科・歯科）薬局，大学・専門学校等へ配布		○	健康福祉局	健康政策課
	妊婦歯科健診，20歳のデンタルケア事業，歯周病検診の精度管理の充実に努めるとともに，保健指導を強化する。（歯と口の健康づくりネットワーク会議は書面開催）	・歯と口の健康づくりネットワーク会議等において，健診実績等に基づき効果の検証を行っている。 ・歯と口の健康づくりネットワーク会議等において，健診実績等に基づき効果の検証を行っている。		○	健康福祉局	健康政策課
	基礎健診・特定健診の間際に「食事をかんで食べる時の状態」を新設し，状況に応じた保健指導と受診勧奨を行う。	・特定健康診査（40～74歳の仙台市国保加入者）62,212人 ・基礎健診（35～39歳/75歳以上の市民）41,891人に 健診医療機関における事後指導の際に活用するリーフレットを配布		○	健康福祉局	保険年金課
⑥口腔機能維持・向上の支援事業	70歳，75歳，80歳の方へ豊齢力チェックリストを郵送し，「口腔機能向上」に関する項目のセルフチェックを通じて啓発を行う。	・豊齢力チェックリストを29,938人に送付 ・口腔機能の項目で基準より得点が上回った方に対し，必要に応じた介護予防等のサービスやケアを推奨した。			健康福祉局	地域包括ケア推進課
	事業者研修会等において，「介護予防口腔機能向上プログラム」を踏まえた高齢期の口腔機能維持・向上に係る啓発を行い，多職種連携で取り組みを推進する。	・新型コロナウイルスの感染症の影響で実施無 ・1回-12人（介護予防スキルアップ）			青葉区	家庭健康課
		・被災者支援運動教室における啓発：1回9人			青葉区	宮総保健福祉課
					宮城野区	家庭健康課

### 【3】生涯を通じた歯と口の健康づくり推進

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 生涯を通じた歯と口の健康づくり推進の体制整備を図る	①多様な手法を活用した分かりやすい情報の発信と普及啓発	ホームページ，フェイスブック，情報コーナー，歯と口の健康週間・歯と口腔の健康づくり月間等を活用した啓発を行う。	・歯と口の健康づくり週間・歯と口腔の健康づくり月間 情報コーナー/懸垂幕/デジタルサイネージ 啓発ポスター等送付・配付 ・歯と口の健康週間 宮城野図書館(314)，小規模保育施設ポスター送付(21)，児童館ポスター・DVD送付(20)，健康教育媒体貸出(2)，若い世代6施設(1577) 田子西たんぼほ職員啓発(18)，横断幕設置，庁内放送，デスクネット掲示掲板載，LINEタイムライン掲載 ・歯と口腔の健康づくり月間 図書館(195) 保育施設(45) 職域(92) 5歳児用(92) ・健康づくり普及月間パネル展，禁煙週間パネル展，岩切市民センターパネル展		青葉区	家庭健康課
			・ホームページ更新 4回（5・8・10・12月） ・歯と口腔の健康週間：パネル展32（リーフレット配布数），情報コーナー53（リーフレット配布数）小規模保育施設17ヶ所，企業主導型11施設，管内認可保育施設・幼稚園46（資料送付） ・歯と口腔の健康づくり月間：パネル展 702（リーフレット配布数），情報コーナー1ヶ所165（リーフレット配布数） 健康フェスティバル：中止		宮城野区	家庭健康課
			・ホームページ更新 4回（5・8・10・12月） ・歯と口腔の健康週間：パネル展32（リーフレット配布数），情報コーナー53（リーフレット配布数）小規模保育施設17ヶ所，企業主導型11施設，管内認可保育施設・幼稚園46（資料送付） ・歯と口腔の健康づくり月間：パネル展 702（リーフレット配布数），情報コーナー1ヶ所165（リーフレット配布数） 健康フェスティバル：中止		若林区	家庭健康課
			・歯と口腔の健康づくり週間パネル展，ポスター送付，啓発フロアの配布等 ・歯と口腔の健康づくり月間パネル展，啓発フロアの配布等 ・歯科保健に関する情報（動画）をせんだいTube・太白区チャンネル（YouTube）で発信 ・ララガーデンで歯と口腔の健康づくり月間パネル展実施		太白区	家庭健康課

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎ロビーにて、歯と口の健康週間パネル展実施</li> <li>・歯と口腔の健康づくり月間パネル展実施</li> </ul>		太白区	秋総保健福祉課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯と口の健康週間/パネル展・ポスター等による啓発</li> <li>・歯と口の健康づくり月間/パネル展・健康増進普及月間・懸垂幕の掲示(11月)</li> </ul>		泉区	家庭健康課
②生涯を通じて「かかりつけ歯科医」を持つことの推進	母子保健事業や成人保健事業・介護予防事業において「かかりつけ歯科医」を持つことの重要性・必要性を啓発する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健事業 &lt;再掲：重点4【1】(1)②・④・⑦&gt;</li> <li>・成人保健・介護予防保健事業 &lt;再掲：重点4【2】(1)③・④&gt;</li> <li>・啓発事業 &lt;再掲：重点4【3】(1)①&gt;</li> </ul>		青葉区	家庭健康課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健事業 &lt;再掲：重点4【1】(1)②・④・⑥&gt;</li> <li>・成人保健・介護予防保健事業 &lt;再掲：重点4【2】(1)④・⑤&gt;</li> <li>・啓発事業 &lt;再掲：重点4【3】(1)①&gt;</li> </ul>		宮城野区	家庭健康課	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスアップ通信 なし</li> <li>・幼児健診 1.6-28回1034名/2.6-28回1149名/3.7-30回1112名 *幼児歯科健診全数再開</li> </ul>		若林区	家庭健康課	
		<再掲：重点4【1】(1)②・③・④>		太白区	家庭健康課	
		<再掲：重点4【1】(1)⑤>		泉区	家庭健康課	
③かかりつけ歯科医機能の推進	歯科医療機関が参加する「フッ化物歯面塗布事業」「妊婦歯科健康診査」「成人歯科健康診査」事前説明会等において、「かかりつけ歯科医機能」や市民の取り組みの支援の在り方を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【健康政策課、子供保健福祉課で実施】</li> <li>・妊婦歯科健康診査事前説明会：受講388人/登録医療機関210人</li> <li>・フッ化物歯面塗布助成事業：受講320人/登録医療機関206人</li> <li>・成人歯科健康診査事業説明会：受講441人/登録医療機関434人</li> <li>※受講者にスタッフ含む</li> <li>※動画視聴</li> </ul>	○	健康福祉局	健康政策課	
④歯と口の健康づくりネットワーク会議及び各種推進部会の開催	保育所・幼稚園・学校・保護者・保健医療関係者等の参画を得て、幼児期から学童期の一貫した歯と口の健康づくりを推進するための実践に向けた検討と進行管理を行う。 (新型コロナウイルス感染予防の対策のため、会議の開催は中止し資料送付)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【区家庭健康課、支所保健福祉課、健康政策課、子供保健福祉課で実施】</li> <li>・歯と口の健康づくりネットワーク会議及びむし歯予防推進部会合同会議：書面開催2回</li> </ul>	○	健康福祉局	健康政策課	

#### 【4】その他の取り組み

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) セルフケアが困難な方の歯と口の健康づくり推進の体制整備を図る	①障害児施設歯科健診事業	障害児通所施設において歯科健診と保健指導を実施している。施設が主体的に歯科保健活動に取り組みめるよう、また、保護者が適切なホームケアやかかりつけ歯科医での定期予防管理を受けられるよう健康教育を行う。 (新型コロナウイルス感染予防の対策のため、春季の歯科検診は中止)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児施設歯科保健指導 2回17名 &lt;再掲：重点4【1】(1)⑥&gt;</li> <li>・西花苑たんぼぼホーム2回17名講話のみ</li> </ul>		青葉区	家庭健康課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;再掲：重点4【1】(1)⑥&gt;</li> <li>・4回52名（田子西たんぼぼホーム2回20名、なかよし学園・あおぞらホーム2回32名）</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響により、歯科健診は中止。</li> <li>※なかよし学園・あおぞらホームの秋期歯科健康教育はWebを使用。</li> </ul>		宮城野区	家庭健康課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;再掲：重点1【1】⑥&gt;</li> <li>・上飯田たんぼぼホーム（健診中止）文書指導による歯科健康教育 35部</li> </ul>		若林区	家庭健康課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・3施設 4回77人&lt;再掲：重点4【4】(1)⑥&gt;</li> <li>（主管課：障害者支援課 新型コロナウイルス感染予防の対策のため、歯科検診・ブラッシング指導は中止、歯科保健指導（保護者等への講話）のみの実施とする）</li> </ul>		太白区	家庭健康課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、歯科健診・保健指導は実施せず。</li> <li>・健康教育：4回-31人</li> </ul>		泉区	家庭健康課
	②障害者施設歯科健康教育	障害者施設の職員を対象に歯科健康教育を実施し、施設における日常の歯科保健活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育 0回0人</li> </ul>		宮城野区	家庭健康課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・上飯田たんぼぼホーム 文書指導による歯科健康教育 35部</li> <li>&lt;再掲：重点4【4】①&gt;</li> </ul>		若林区	家庭健康課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・3施設 4回77人（保護者へ歯科講話）&lt;再掲：重点4【4】(1)①&gt;</li> </ul>		太白区	家庭健康課
	③在宅医療関係者への研修会	ケアマネジャーをはじめとする関係者向け研修会において、口腔ケアや口腔機能維持向上の重要性や具体策を周知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【介護事業支援課、健康政策課で実施】</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響により研修会は開催せず</li> </ul>		健康福祉局	医療政策課

【重点分野5】大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

【1】喫煙に関する正しい知識の啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課	
(1) たばこが及ぼす健康影響について啓発を行う	①たばこの健康への影響について正しい情報が得られるよう、多様な手法を活用した分かりやすい情報の発信と普及啓発	ホームページ、情報コーナー・健康づくり講座、イベント、世界禁煙デー・禁煙週間事業を活用した啓発を行う。	・世界禁煙デー啓発 ①パネル・ポスター掲示、パンフレット配布（庁舎2階・3階情報コーナー） ②啓発チラシの配布（区内コミュニティセンター、市民センター） ③庁内放送による啓発 ④庁舎1階デジタルサイネージによる啓発 ・1月、情報コーナーにてパネル掲示、パンフレット配布 ・若い世代の健康づくりニュースレター（7月発行）に喫煙のリスクについて記事掲載。（区内専門学校24校、関係機関2か所に配布、仙台市ホームページに記事データ掲載）		青葉区	家庭健康課	
			・世界禁煙デー・禁煙週間：庁内放送、情報コーナーへのポスター等掲示による啓発	青葉区	宮総保健福祉課		
			・「世界禁煙デー」「禁煙週間」パネル展示 ・自動車学校・児童館等へのポスターやちらしの設置依頼 ・区内専門学校6校に対し、COPD、受動喫煙防止に関連する資料を配布	宮城野区	家庭健康課		
			・世界禁煙デーにおける健康情報コーナーでのパネル展示、庁内放送による啓発	若林区	家庭健康課		
			・区役所1階情報コーナー・ロビー、秋保総合支所、ララガーデン長町でのパネル展。 ・家庭健康課・保育給付課・管理課窓口、保健センター窓口、母子保健事業受付カウンターに卓上媒体設置。 ・庁内放送実施。	太白区	家庭健康課		
			・庁舎ロビーにて、禁煙週間パネル展実施	太白区	秋総保健福祉課		
			・仙台市ホームページ、泉区Facebook、市政だよりに情報掲載。子ども向けのホームページも作成し、防煙教育の配布資料に載せたQRコードから子ども向けのページへアクセスできるようにし、たばこの害等について知識を普及した。 ・世界禁煙デーと禁煙週間(5月)に区役所情報コーナーにて、たばこが及ぼす健康影響についてパネル展を行った他、のびすく泉中央へポスター掲示の依頼を行い、啓発した。	泉区	家庭健康課		
			・健康づくり講座やイベントなどは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。情報コーナーにおいて禁煙啓発を行った。	仙台市健康福祉事業団	仙台市健康増進センター		
			②喫煙防止教育の実施	学校・児童館等と連携した喫煙防止教育の実施を支援する。	・区内小学校及び区内児童館へ受動喫煙防止健康教育の案内・資料を送付  ・児童館6か所（富沢、郡山、柳生、茂庭台、大野田、上野山）、1保育所（袋原あおぞら）、1小学校（四郎丸）計666人へ健康教育を実施し、保護者向けパンフレットを配付。  ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集団での教育は実施せず。R2年度に啓発を行わなかった区内の児童館・児童センターへ、児童・保護者向けの啓発チラシや禁煙マークのぬりえ、シールを計726部配布。その際、地域の喫煙状況や防煙教育のニーズ等に関して3ヶ所の児童センターと情報交換を行った。 ・小学校の高学年を対象とした防煙教育を1件実施予定だったが、感染症拡大により中止。  ・薬物乱用防止、防煙キャンペーン11月17日は中止となった。（仙台市教育委員会共催）	宮城野区	家庭健康課
			③大学や専門学校と連携した防煙教育	若い世代への健康づくり支援事業の一環として、専門学校で教職員や学生が自ら企画し、取り組めるよう支援する。 大学の新生を対象に「健康的な食生活、歯と口の健康、防煙、心の健康」についての総合的な健康教育を行う。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、訪問して禁煙啓発グッズの配布をすることは中止とした。 ・東北工業大学1年生（123名）に健康教育を実施。	太白区	家庭健康課
(2) 未成年者の喫煙を防止する環境づくり	①小中学校と連携した防煙教育	学校保健に関する懇談会を通し学校と連携し、スキル学習を取り入れた防煙教育実施の支援を行う。学校の要望により、アルコール、薬物乱用についても支援する。	・防煙教育（薬剤師の講話）小学校2校 中学校1校 計262名参加	若林区	家庭健康課		
		②母子健康手帳交付時のチラシの配布	・母子手帳交付時：4,195人  ・母子手帳交付時に、受動喫煙リーフレット配付  ・母子手帳交付・妊婦の転入手続き時にチラシ配布	各区	家庭健康課 保健福祉課		
			③育児教室や新生児訪問での再喫煙防止の啓発	・新生児訪問時、たばこの害と子どもへの影響についてチラシを配付、説明。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために3~4か月育児教室が中止となったため、集団指導時のパネルを用いた説明はなし。	宮城野区	家庭健康課	
(3) 妊産婦や家族に対して、喫煙が及ぼす健康影響や再喫煙防止についての啓発を行う	①両親教室での普及啓発	両親教室時に、たばこの健康影響や受動喫煙等のチラシの配布やミニ講話を実施し、パートナーが禁煙について考える機会とする。	・新米パパママ教室における受動喫煙に関する啓発50名	若林区	家庭健康課		
		②育児教室や新生児訪問での再喫煙防止の啓発	出産後に、再喫煙となる母親がいることから、自身へのたばこの健康影響と子どもへの受動喫煙に関して情報提供する。		太白区	秋総保健福祉課	
					青葉区	家庭健康課	



			・新生児訪問指導時に、両親の喫煙状況に応じた情報提供と禁煙啓発カードの配付		宮城野区	家庭健康課
			・新生児訪問にて、啓発資料配布、個別禁煙相談の情報提供 ・例年、3～4か月児育児教室でたばこの害についての講話をしていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため育児教室が中止となり実施できず。対象者への資料送付時に、個別禁煙相談の案内を送付した。		太白区	家庭健康課
			・新生児訪問で資料配布し啓発		太白区	秋総保健福祉課
			・3～4か月児育児教室対象者への電話指導 保護者（母親）11人		泉区	家庭健康課

## 【2】たばこをやめたい人への禁煙支援

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課	
(1) たばこをやめたい人への禁煙支援	①禁煙支援医療機関と禁煙支援薬局の情報提供	情報コーナーや世界禁煙デーなどの事業を活用した情報提供を行う。	・禁煙相談の実施（5人）		青葉区	家庭健康課	
			・世界禁煙デーにおけるパネル展及びリーフレットの配布 ・個別禁煙支援で配布し情報提供		若林区	家庭健康課	
			・禁煙チャレンジャー(個別禁煙相談)時に、必要時情報提供をした。		太白区	家庭健康課	
			・禁煙支援医療機関一覧を作成し希望者へ配布		太白区	秋総保健福祉課	
			・禁煙希望者に対し、医療機関や薬局の情報提供を4件行った。		泉区	家庭健康課	
		②個別禁煙支援	希望者に対し、面接や電話等により禁煙を支援する。	・禁煙相談の実施（1人）		青葉区	宮総保健福祉課
				・禁煙指導実施数3名（電話支援回数12回）禁煙達成者1名 ・随時相談1名		宮城野区	家庭健康課
				・【相談8件】禁煙外来紹介6名、継続支援2名（内、再喫煙1名、不明1名）		若林区	家庭健康課
				・【相談5件】禁煙成功1名、禁煙外来・禁煙支援薬局紹介2名、禁煙開始できず1名、継続支援中1名		太白区	家庭健康課
				・禁煙相談実施1件		太白区	秋総保健福祉課
			・禁煙希望者に対し、月に1回個別に健康教育を実施。 ・新規禁煙挑戦者：4名、前年度からの継続者：0名 （今年度の電話での支援：延べ24回、面接での支援：延べ13回） ・単発の禁煙相談件数：4件		泉区	家庭健康課	

## 【3】受動喫煙防止対策の更なる推進

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 受動喫煙防止対策ガイドラインの周知を強化する	①受動喫煙防止対策施設登録制度	制度の周知をし、登録件数の増加を働きかけながら、より望ましい「禁煙」に取り組む施設の増加を推進する。	・受動喫煙防止対策の推進を目指し、平成27年9月より敷地内禁煙・建物内禁煙に取り組む「受動喫煙防止宣言施設」の登録制度を宮城県・全国健康保険協会宮城支部と共同で実施した。 ・令和3年度登録施設数 1,375施設（うち所在地が仙台市 744施設）	○	健康福祉局	健康政策課
(2) 事業所に向け受動喫煙防止対策ガイドラインの啓発を行う	①受動喫煙に関する取り組みを行う企業への支援	受動喫煙防止対策ガイドラインの周知や、企業が取り組むべき方策について支援する。	・取り組みなし	○	宮城野区	家庭健康課
	②受動喫煙防止に配慮した公園の環境整備	快適で健康的な公園を目指し、看板等による喫煙マナーの向上や、受動喫煙防止の広報・啓発を行う。	・花京院緑地に受動喫煙防止啓発の看板を設置	○	青葉区	公園課

【重点分野6】日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

【1】定期予防接種の接種勧奨

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 接種対象者に対する積極的な接種勧奨	①集団接種事業(BCG)	市政だよりやホームページで周知し、通年で保健福祉センター等を会場に実施。	・BCG [7,434]*[接種件数 R3.4-3月分] ・会場・日程について市政だよりと仙台市ホームページにて周知		健康福祉局	感染症対策室
	②個別接種事業	母子手帳交付時に周知し、新生児訪問や4か月育児教室等の機会に接種勧奨する。 学齢期の対象者には、保護者あてにお知らせのチラシを配付する。 特例対象者の予防接種は、個別通知をする。	・DPT-IPV [29,338]DPT [5]DT [6,883]JPV [4] 日本脳炎 [23,280]MR 1期[7,496]MR2期 [8,524] ヒブ [29,179]小児の肺炎球菌 [29,135]HPV [7,768]水痘[14,831] B型肝炎[21,681]ロタ[17,257]高齢者インフル[151,980] 風しん5期（成人男性）[435]（H31.3.15 開始） * [延接種数 R3.4-3月分] ・母子手帳交付時、母子手帳別冊(乳幼児編)個別送付時、新生児訪問や4か月育児教室、1歳半健診時等に接種勧奨実施 ・小学3年生あてに小学校を通して日本脳炎第2期お知らせを配付。 （ワクチン供給量不足によりR3は未実施。R4に繰り越し実施予定。） ・18歳あて日本脳炎第2期特例接種個別通知実施(R02.7：約9,400通) （ワクチン供給量不足によりR3は未実施。R4に繰り越し実施予定。） ・小学6年生あて小学校を通して二種混合お知らせを配付		健康福祉局	感染症対策室
	③高齢者肺炎球菌予防接種費用助成事業	接種対象者あて個別通知をする。 市政だよりやホームページで周知する。	・高齢者肺炎球菌定期接種件数[7,023] * [接種者数 R3.4-3月分] ・65歳あて高齢者肺炎球菌個別通知実施(R03.8：11,865通) ・市政だよりお知らせ掲載(10月号)		健康福祉局	感染症対策室
	④おたふくかぜ予防接種費用助成事業	1歳6か月健診のお知らせ送付時に接種対象者あてお知らせのチラシを配付する。	・おたふくかぜワクチン[7,072] * [接種者数 R3.4-3月分] ・1歳6か月健診のお知らせ送付時に接種勧奨のお知らせを配付。		健康福祉局	感染症対策室
	⑤予防接種登録医療機関研修会	予防接種登録医療機関あて仙台市予防接種事業の円滑な実施に向けた研修会を開催する。	・令和3年7月に仙台市医師会との共同で予防接種登録医療機関研修会を開催。 新型コロナウイルス感染症の影響により、WEBまたは現地での受講が可能なハイブリッド方式で実施した。		健康福祉局	感染症対策室

【2】感染症に関する正しい知識の普及・啓発

健康づくりの手法	取組事業	事業概要（令和3年度）	事業実施状況（令和3年度）	環境改善・整備	担当局・区	担当課
(1) 感染症に関する正しい知識の普及啓発	①感染症流行期に合わせた啓発	社会福祉施設・学校・保育所等へ啓発資材の送付や来庁者及び職員等への啓発・注意喚起	・インフルエンザ予防啓発ポスター （市内医療機関、保育施設、幼稚園、学校等約1,820部）配布	○	健康福祉局	感染症対策室
			・庁舎内に感染症関連のポスターを掲示	○	青葉区 泉区	管理課
			・来庁者及び職員へ咳エチケットマスク配布、職員に対して嘔吐物処理研修、庁舎内に感染症関連ポスター掲示、情報コーナーでチラシ配布を予定していたが実施せず。 ・庁舎入口に手指消毒用ジェル配置	○	若林区	管理課
			・電子媒体・市政だより等による啓発	○	健康福祉局	感染症対策室
			・手洗いスタンドの貸し出し	○	宮城野区 若林区 太白区	管理課
	②結核予防週間に合わせた結核の予防啓発事業	市政だより、ホームページ等による啓発 区役所におけるパネル展示やパンフレット、ポスター等の啓発資材の配布	・管内社福施設等（221施設）に貸出案内文書を送付、貸出対応は衛生課に依頼	○	泉区	管理課
			・ホームページに啓発記事を掲載 ・市民センター、公所等へパンフレット、ポスター等を配布	○	健康福祉局	感染症対策室
			・庁舎に懸垂幕を掲出	○	青葉区 太白区 泉区	管理課
			・市政だよりに啓発記事を掲載	○	若林区 泉区	管理課
			・庁内放送を実施	○	若林区 太白区	管理課
・庁舎内におけるパネル展 ・庁舎内及び関係課におけるパンフレット設置・配布、ポスター掲示 ・外国語版パンフレットを配布	○	宮城野区 若林区 太白区 泉区	管理課			

		・ 民生委員児童委員協議会における啓発	○	宮城野区 太白区	管理課
		・ 庁内放送及び案内ディスプレイ放映を実施	○	泉区	管理課
	高齢者の結核リスクについて、高齢者および介護従事者等への正しい知識の提供	・ 介護事業支援課の高齢者施設向けホームページに掲載 (新型コロナウイルス感染症流行のため研修中止)	○	健康福祉局	感染症対策室
	職員向けの情報提供	・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区 宮城野区	管理課
		・ 庁内放送を実施	○	若林区 太白区	管理課
		・ 庁内放送及び案内ディスプレイ放映を実施 ・ 庁舎内トイレにミニチラシを掲示	○	泉区	管理課
		・ 庁内LAN掲示板に啓発記事を掲載 ・ 庁内関係部署へパンフレット、ポスター等の配布	○	健康福祉局	感染症対策室
③結核予防週間以外(通年)で実施する結核の予防啓発事業	職員、医療従事者等への情報提供	・ 実績なし(新型コロナウイルス感染症流行のため、研修会中止)	○	健康福祉局	感染症対策室
	公衆衛生関係学生実習における情報提供	・ 公衆衛生関係学生実習における情報提供	○	青葉区	管理課
		・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	宮城野区	管理課
		・ 保健所実習看護・福祉系学生、臨床医師研修で結核についての講話を実施	○	若林区 太白区 泉区	管理課
		・ 結核診査部会に参加した医学部学生、研究生に対し、結核についての講話を実施	○	健康福祉局	感染症対策室
	高齢者の結核リスクについて、高齢者および介護従事者等への正しい知識の提供	・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区 宮城野区 太白区	管理課
		・ 高齢者サークルで結核についての講話を実施	○	泉区	管理課
		・ 介護事業支援課の高齢者施設向けホームページに掲載 (新型コロナウイルス感染症流行のため研修中止)	○	健康福祉局	感染症対策室
	結核リスクについて、日本語学校等留学生及び技能実習生に対する正しい知識の提供	・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区	管理課
	被災世帯への情報提供	・ ヘルスアップ通信掲載予定だったが1回のみ配布だったため掲載せず		若林区	管理課
④HIV検査普及週間および世界エイズデーに合わせた予防啓発	市政だよりやホームページ、横断幕等による情報発信や、各所でのパネル展示を実施し啓発する。	・ 庁舎内にパネル展示、ポスター掲示、パンフレット・啓発物の配布等	○	青葉区 宮城野区 若林区 太白区 泉区	管理課
		・ 市政だよりに掲載	○	若林区 太白区	管理課
		・ 庁内放送	○	若林区 太白区	管理課
		・ ホームページでの情報提供	○	太白区 泉区	管理課
		・ 市政だより掲載 ・ ホームページでの情報提供 ・ 区役所等におけるパネル展示(6月・11月) ・ 市民団体と協働し「仙台HIVネット」へのHIV検査広報、ツイッターによる広報、MSM向けスマートフォンアプリへの広告掲出、商業施設への啓発資料配布 ・ ZELコミュニティ紙への検査情報掲載 ・ 医療機関・関係機関等へのポスター・啓発チラシ等の送付(11月)	○	健康福祉局	感染症対策室
⑤青少年に向けたエイズ・性感染症予防啓発	成人式での啓発	・ 新型コロナウイルス感染症感染対策のため、成人式における啓発は実施なし。 ・ 市内中学校・高校・大学・短大・各種専門学校へのポスター・チラシ配布(11月) ・ 学校等と連携した健康教育の実施(2施設)	○	健康福祉局	感染症対策室
	高校、専門学校、大学の文化祭や大学生検診の際にブース等を設置し、啓発のためのポスター掲示、パンフレットやティッシュの配布を実施	・ 専門学校、大学に対し、啓発のための資料配布	○	青葉区	管理課
		・ 区内短大祭、区民まつり、市民センターまつりにて、ポスター展示、パンフレット(30枚)ポケットティッシュ(200個) Condom(30個)検査案内カード(190枚)、啓発用メモ帳(30個)を配布予定だったが、まつりが中止のため実施せず	○	若林区	管理課
		・ 区内大学学園祭にて啓発資料の配布	○	太白区	管理課

			・ 泉図書館とのびすく泉中央での啓発資料の配布	○	泉区	管理課
		施設入所中の中学生へのエイズ・性感染症健康教育の実施	・ 思春期保健・エイズ性感染症健康教育：①中学生12名、先生6名参加	○	太白区	管理課
		高校生へのエイズ予防教育の実施	・ 区内高校にて予防教育実施	○	若林区	管理課
			・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	宮城野区 太白区	管理課
		専門学校生へのエイズ・性感染症健康教育の実施	・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区	管理課
		公衆衛生関係学生実習における情報提供	・ 公衆衛生関係学生実習における情報提供	○	青葉区	管理課
			・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	宮城野区	管理課
			・ 保健所実習看護・福祉系学生、臨床医師研修におけるエイズ予防教育	○	若林区 泉区	管理課
	⑥週報・月報の公表	市民向けに区役所内に情報を掲示したり、医療機関への情報提供	・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	青葉区	管理課
	⑦健康危機管理研修	職員を対象にした研修の実施	・ 管理課職員及び新型コロナウイルス感染症対応の応援職員向けに研修を実施した。	○	青葉区 宮城野区 泉区	管理課
			・ 新型インフルエンザ実動班訓練	○	若林区 泉区	管理課
			・ 健康危機管理研修会の開催 ・ 災害時の保健活動における感染症対応について（企画会議研修：28名） ・ 母子保健係幼児健診担当向け 吐物処理実習(1回16名参加)	○	太白区	管理課
			・ 新型コロナウイルス感染症対応の為中止	○	健康福祉局	感染症対策室
	⑧感染症予防に関する健康教育	学校、社会福祉施設等(集団感染が発生しやすい施設)対象の感染症講習会の開催	・ 地域で開催している高齢者のサロンにて感染症に関する講話を行った。	○	青葉区	管理課
			・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし	○	宮城野区 太白区	管理課
			・ 感染性胃腸炎予防啓発文書を社福施設等（221施設）に送付 ・ 社福施設からの依頼により吐物処理実習を実施	○	泉区	管理課
	⑨新型コロナウイルス感染症に関する情報提供	来庁者向けに新型コロナウイルス予防策のポスター等の掲示	・ 庁舎内にポスターを掲示	○	青葉区 泉区	管理課
(2)	感染症に関わる検査の実施					
	①HIV検査相談事業	各保健所及びその他の会場にて、異なる曜日や時間帯を設定して匿名・無料のHIV検査・相談を実施する。その日のうちに結果がわかる即日検査を月3回開催する。	・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、一部検査を休止したが、ニーズの高い夜間・休日の検査は感染対策に留意のうえ、継続して実施した。 ・ HIV検査件数727件(うち陽性2件)		健康福祉局	感染症対策室
	②性器クラミジア検査事業	青葉区役所の夜間HIV検査会場にて、同時に開催する。	・ 新型コロナウイルス感染症対策のため休止していた検査を、11月より再開した。 ・ クラミジア検査件数65件(うち陽性7件)		健康福祉局	感染症対策室
	③梅毒検査事業	各区及びその他の会場において実施する、HIV検査会場にて同時に開催する。	・ 新型コロナウイルス感染症対策のため、一部検査を休止したが、ニーズの高い夜間・休日の即日検査は感染対策に留意のうえ、継続して実施した。 ・ 梅毒検査件数727件(うち陽性13件)		健康福祉局	感染症対策室
	④肝炎ウイルス検査	これまで検査をしたことがない人を対象にした無料肝炎ウイルス検査を実施する。	・ B型肝炎ウイルス検査件数3,661件(うち陽性13件) ・ C型肝炎ウイルス検査件数3,680件(うち陽性12件)		健康福祉局	感染症対策室
	⑤肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップ事業	肝炎検査の結果陽性だった者に対し、フォローアップアンケートを実施し医療機関受診状況を把握する。必要時、未受診者への受診勧奨を行う。	・ 調査対象人数140人(うちR3新規対象者24人) ・ アンケート返信数86件		健康福祉局	感染症対策室
	⑥風しん抗体検査助成事業	風しん抗体検査の費用助成	・ 風しん抗体検査数(妊娠を希望する女性等)：1,125人 ・ 風しん追加的対策検査数(成人男性)(H31.3.15開始)：1,782人		健康福祉局	感染症対策室
	⑦HIV検査相談を受けやすい環境整備	検査を受けた方からのアンケート結果を参考に、より安心して相談・検査を受けられるような環境を整備する。	・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により実施なし		青葉区 宮城野区	管理課
			・ 感染対策の観点から、検査受検者へのアンケートは省略したが、複数の担当者で確認・検討のうえプライバシーの保護と、感染対策に留意し検査会場の環境整備を行った。		健康福祉局	感染症対策室

## 2. 仙台市保健所支所の取り組み

### 青葉区保健福祉センター（令和3年度実績）

#### 1. 令和3年度 事業の取り組みの概要

##### 重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・市民センターと共催で親子向け運動講座や四ツ谷用水の街めぐりの要素を取り入れたウォーキング講座を実施
- ・管内専門学校の教員と連携し、教員の感じている生徒の健康課題に合わせた健康情報を提供

##### 重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・健康教育やサロン参加時等にメンタルヘルスに関する資料を配布し啓発
- ・専門学校の生徒の健康課題に多いメンタルヘルスについて普及啓発するための記事をニュースレターへ掲載し24校へ配布、ホームページへ掲載
- ・若い世代の健康づくり支援事業及び精精神保健福祉啓発事業として、区内専門学校の教職員を対象とした勉強会を実施
- ・こころの健康づくり講演会の申込者に対し資料を送付し、コロナ禍のメンタルヘルスについて啓発
- ・自殺対策強化期間に広瀬図書館と連携し、こころの健康に関する図書の特設ブースを設置（宮総）

##### 重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・食育推進を強化するため、食育に関わる地域施設や食育活動団体を対象にする情報提供や支援を継続的に実施
- ・子育て世代を対象に、市民センターと共催で健康的な食習慣を身につけられるよう常備菜を活用した講座を開催
- ・常備菜レシピの子供向けアレンジの動画を製作し、情報発信
- ・包括支援センターと連携し、情報共有しながら低栄養予防リーフレットを作成

##### 重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・フッ化物歯面塗布助成事業（新規事業）を推進するため、幼児健診などの各事業や児童館等と連携し、乳歯萌出期からの歯と口の健康づくりについて啓発
- ・保育施設にフッ化物洗口導入支援、歯科健康診査結果集約事業を実施  
また、小規模保育施設に対しフッ化物利用についての啓発資料を送付

##### 重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・母子健康手帳交付時に受動喫煙防止のチラシを配布し啓発、配布したチラシには禁煙相談の案内も掲載し、禁煙支援の周知
- ・母子保健事業やがん検診でたばこの健康影響について普及啓発

##### 重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・各分野の啓発に併せて、新型コロナウイルス感染症と感染予防に関する啓発

##### 市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域住民の集まりが減少していることから、交流を行う上での感染対策を啓発するリーフレットを作成し、周知

#### 2. 今後の取り組みに向けた課題等

新型コロナウイルス感染症拡大防止による自粛生活が長引いていることにより活動量の低下、食生活の変化、精神的ストレス等を抱える区民もいることから、関係機関と連携しながら健康づくりの啓発や事業展開が必要である。

# 宮城野区保健福祉センター（令和3年度 実績報告）

## 1. 令和3年度 事業の取り組みの概要

### 重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・学齢期の健康づくりとして、学校保健・地域保健の懇談会を開催。各学校の健康課題やコロナ禍による児童への影響等について情報交換・共有  
また、生活習慣病予防に関して小学校3校・児童館1か所で計5回健康教育を実施し、児童や保護者に対して健康づくり推進
- ・新型コロナウイルスによる健康二次被害に関するリーフレットを区独自で作成し、リーフレットを8,000部配布のうえ、出前講座を11か所・延265人に実施

### 重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・心身の脆弱性を抱える被災地域10か所に対し、コロナ禍での地域活動再開支援を実施
- ・復興住宅や防災集団移転地、浸水地域に対して個別訪問を行い、健康支援や介護予防を実施
- ・自殺予防月間に合わせて、宮城野図書館との連携による展示及び区役所1階ロビーにてパネル展を実施し、地域住民に対してメンタルヘルスの普及啓発

### 重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・若い世代や子育て世代の食への関心を高めるために、専門学校と連携し野菜を使ったおやつレシピコンテストを開催、完成したレシピのホームページへの掲載や児童館への提供による食育の啓発
- ・児童館にポスター掲示や資料配布の協力を依頼し、望ましい食習慣について啓発

### 重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・子どもの成長に応じた健康的な生活習慣や歯科保健行動の定着を促すため、子育て・教育分野との協働による健康教育および啓発
- ・口腔機能や喫煙・転倒の状況等について学区毎に把握、関係機関および多職種と共有し生涯にわたる歯と口の健康の基盤づくりを推進

### 重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・特定健診データを活用し、喫煙者に対し文書を送付、禁煙の動機付けを実施
- ・母子健康手帳交付時や新生児訪問時に禁煙と受動喫煙防止について子育て世代への啓発

### 重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・新型コロナウイルス感染症について、患者家族をはじめ学校や社会福祉施設、事業所等から多くの相談が寄せられたため、感染対策について助言
- ・HIVや結核について、区役所ロビーに予防啓発ポスターを展示とリーフレット等の配布

### 市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・小学校や児童館等との懇談会の開催や共催事業の実施等により連携を強化し、健康づくりに共に取り組む機関増加

## 2. 今後の取り組みに向けた課題等

- ・子どもたちの健康を守るため、子どもの頃からの健康づくりについて関係機関と連携し推進する
- ・長期化した新型コロナウイルス感染症による健康二次被害（基礎疾患の悪化、メンタルヘルス・フレイル等のリスクの増大、人と人のつながりの希薄化）を予防していくため、特に元気な高齢者や子育て世代に向けた取り組みが必要である

# 若林区保健福祉センター（令和3年度 実績報告）

## 1. 令和3年度 事業の取り組みの概要

若林区はメタボリックシンドローム該当者や子どもの肥満が多い傾向にある。令和2年度はコロナ禍のため各事業が課題解決に向けた取り組みを実施できない状況が続いていた。令和3年度は重点事業である六郷健康づくり事業を中心に、コロナ禍での工夫をしつつ、できるだけ事業の開催を試みた。

### 重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防(高血圧予防, 減塩をテーマとした啓発)

- ・学校の授業で生活習慣病予防の健康教育を実施。（小学校1校、中学校1校）
- ・健康増進普及月間におけるパネル展示, リーフレット配布（延1,104部）
- ・商業施設でのパネル展示やリーフレット配布（延1,161部）, 健康教育（5回344人）
- ・定期的な健康講話（3回7人）・相談（10回4人） ・ウォーキングイベント（2回延101人）
- ・介護予防サポーター養成研修は中止, スキルアップ研修は開催（全6回 実54人 延82人）

### 重点分野2 気づく, つながる, 支える心の健康づくり

- ・こころの相談（19回 延49人） ・アルコール関連問題事例検討会（4回 延44人）
- ・被災者こころのケア個別支援件数（障害高齢課分：延915件）（家庭健康課分：延275件）
- ・復興公営住宅等サロンでの健康教育（26回 延211人） ・児童館だよりへの啓発記事掲載
- ・3.11メモリアル交流館での被災者支援パネル展
- ・自殺予防週間や対策月間に区・商業施設でパネル展示, リーフレット配布（4回 延2,692部）
- ・地域サロンや個別訪問時, 区内短大や専門学校・高等学校へ啓発物配布（5校 延1,055部）

### 重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・幼児健診時, 肥満15%以上の幼児を対象に個別栄養指導を強化し, 面接ができない場合はリーフレットや電話で指導を実施（実施率：1歳6か月児健康診査89%, 3歳児健康診査50%）
- ・食育レシピを区役所や保健センター, 市民センター, 区内スーパーに配布（1,192部）及び仙台市ホームページへの掲載
- ・児童館における生活習慣病予防事業（4児童館139人）, 児童館だより啓発記事掲載（4児童館）

### 重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・フッ化物洗口導入支援事業参加施設（24施設）
- ・子育て支援施設における歯科保健・食育推進事業（5施設）

### 重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・防煙教育 小学校2校, 中学校1校（延262人）
- ・個別禁煙支援相談（初回8件, 内継続支援2件）
- ・世界禁煙デー及び禁煙週間におけるパネル展示, リーフレットの配布

### 重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・手洗い評価スタンドの貸出 12施設（延21台） ・実習生等への感染症に関する教育

### 市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

※若林区の区民協働で取り組む健康づくり

- ・若林区健康づくり区民会議 委員への活動報告 1回 ・六郷健康づくり事業 定例会（12回）
- ・健康づくりフェスティバル オンラインまつりに動画掲載（閲覧4,364人） 実行委員会（4回）

## 2. 今後の取り組みに向けた課題等

高血圧予防及びメタボリックシンドローム該当者の減少を区の共通の取り組みとして実施する。今後は、地域毎の健康実態の可視化を継続し、コロナ禍での実施を意識した媒体や設定の工夫をしながら啓発の拡大を図る。また、引き続き健康課題の大きい六郷地区への効果的なアプローチ方法を、区全体で連携しながら考えていく必要がある。

# 太白区保健福祉センター（令和3年度 実績報告）

## 1. 令和3年度 事業の取り組みの概要

### 重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・特定・基礎健診のHbA1c要指導判定者に相談案内や血糖値に関する資料を送付し啓発
- ・地域と共に育む子どもの健康づくりとして、コロナ禍でも取り組むことができるよう作成したDVDを活用し、児童館利用児童等を対象に栄養や歯科、防煙の健康教育を実施（6児童館、1保育所、1小学校 計666名）
- ・働き盛り世代とその子どもをメインターゲットとし、健康づくりに取り組むきっかけとして、商業施設や動物公園でのウォーキングクイズラリーを実施（2回 延1,148名）
- ・商工会や旅館従業員を対象にコロナ禍の健康づくりと感染症予防の講話を実施（2回 延143名）

### 重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・自殺予防週間、自殺対策強化月間期間中に商業施設や図書館等でパネル展示等による啓発
- ・こころの健康づくり講演会は、「子どもや若者のこころの健康」をテーマにWeb開催（1回17名）
- ・飲酒をテーマにこころの健康づくり講演会を開催（1回20名）

### 重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・食育推進事業標語「モーベジ」を活用し、食育プログラム連動レシピ動画3本を作成、各種事業YouTubeで啓発し、商業施設や図書館と連携して健康づくりのための食に関する情報を発信
- ・幼児食育推進連携事業では、コロナ禍でも取り組むことができる動画や食育通信等の野菜食育プログラムを作成し、親子幼稚園等4施設で実施、実施施設数が増加
- ・学校・保育所・地域栄養連絡会を開催、コロナ禍の食育の取組や健康課題の情報共有
- ・新型コロナウイルスワクチン集団接種会場で、フレイル予防の掲示や資料を設置し啓発

### 重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児を増やすため、幼児健診や歯と口の健康週間、月間行事等で、かかりつけ歯科医での定期健診等の推進と「フッ化物歯面塗布助成事業」を周知
- ・むし歯と歯周病予防のため、幼児期から始まりすべてのライフステージにおけるデンタルフロスの使用について、健康教育などで13回1,437人に普及啓発

### 重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・「地域と共に育む子どもの健康づくり事業」や母子保健事業を通じて、妊婦や乳幼児の保護者、児童館利用児童等を対象に防煙教育を実施し啓発

### 重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・市民からの相談や施設調査等の際や健康づくりイベントで、新型コロナウイルス感染症に関する感染予防策の啓発とともに、新しい生活様式の実践についての働きかけ
- ・結核予防週間期間中に、区役所等でのポスター掲示等で結核の予防啓発

### 市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・高齢者、障害者を問わず地域からの相談を包括的に受け止める場として「太白地域まるごと相談事業」を2地区で実施（延べ4回 相談14回 実行委員会4回）

## 2. 今後の取り組みに向けた課題等

新型コロナウイルス感染症の影響による自粛生活が長引き、活動量低下や精神的ストレスの増大、地区組織活動停滞等の課題がある。感染対策に取り組みながら保健活動を実施していく必要がある。



# 泉区保健福祉センター（令和3年度 実績報告）

## 1. 令和3年度事業の取り組みの概要

### 重点分野1 未来の健康をつくる生活習慣病予防

- ・市民センターや地域包括支援センター等との連携による地域での健康教育が複数計画されたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、ほとんど中止
- ・身体活動を増やす機会の提供として、七北田公園を会場にウォーキングイベントを年3回実施し、様々な年代の区民が参加（延106人）
- ・国保データベースを活用し、令和2年度の特健診結果のうち主な検査値（BMI、中性脂肪、HbA1c、収縮期血圧、LDL）について集計・グラフ化しまとめた「地域情報カルテ」を小学校区毎に作成して、地域の関係機関、保育・教育機関等への情報提供、課題共有に活用
- ・国民健康保険特定健診や基礎健診の結果から、血糖値や血圧値が高く受診の必要な区民に対し、生活習慣病の重症化予防のため個別にアプローチを実施

### 重点分野2 気づく、つながる、支える心の健康づくり

- ・3月の自殺対策強化月間に、若者や勤労者、無職・失業者等、自殺リスクの高い層に焦点を当て、商業施設や関係機関等（3年度は新たに子ども食堂、認知症家族の会、地域包括支援センターを追加）に、心の健康づくりに関する啓発物の配布を依頼
- ・復興公営住宅のある地域の福祉団体や自治組織と連絡会を開催し、被災者が孤立しないコミュニティ支援として関係機関と協働でメッセージカードを作成し、個別に配布した。
- ・民児協や介護予防サポータースキルアップ研修、地域包括支援センター連絡会議にて、ゲートキーパー養成研修を実施

### 重点分野3 健康な心と身体を支える食生活

- ・複数の児童館や児童センターと連携し、児童へのおやつ講座開催、ひと月程度のパネル展示実施
- ・管内大学と連携し、若い世代に望ましい食生活について発信するための媒体を学生とともに作成
- ・高齢者のフレイル・低栄養予防についてのパネルや媒体を作成し、庁内情報コーナーや泉図書館、市政だより、Facebook等の活用により情報発信

### 重点分野4 生きる力を支える歯と口の健康づくり

- ・「☆せんだい☆でんたるノートF」の活用を促し、幼児健診や地域健康教育等で、乳幼児期からのフッ化物応用の啓発や、かかりつけ歯科医による歯と口の健康づくりを推進するとともに、保育所等でのフッ化物洗口を実施する働きかけを実施
- ・高齢者のオーラルフレイルの予防について、介護予防サポータースキルアップ研修や地域健康教育等で啓発

### 重点分野5 大切な人の健康を守るたばこ対策の推進

- ・児童館・児童センターとの連携による防煙教育、小学校での防煙の授業は、新型コロナウイルス感染拡大のため実施できず、リーフレットや啓発グッズの配布、啓発動画を収録したDVDを貸出し
- ・ホームページに子供向けのページ「防煙キッズ」を開設し、児童館・児童センターにて周知
- ・禁煙希望者への個別支援を実施し、個人の状況に合わせた禁煙方法について助言

### 重点分野6 日頃から一人ひとりが取り組む感染症予防

- ・感染性胃腸炎やインフルエンザの流行期前に、社会福祉施設や幼稚園、保育所等の施設に対し、啓発資料を送付
- ・エイズ・HIV感染症等の予防対策として、庁舎内でパネル展示の実施、啓発資料を配布

### 市民の健康づくりを支える社会環境の改善・整備

- ・市民センター、小学校と地域の健康課題の共有を図り、今後、児童やその保護者に向けた生活習慣病予防事業を展開するための地盤づくりを実施

## 2. 今後の取り組みに向けた課題等

- ・それぞれの地域特性を踏まえ、特に健康課題が大きい地区では子育て支援機関や教育機関、市民センター、地域包括支援センター、その他関係機関等との協働による重点的な取り組みを推進していく必要がある
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止による自粛生活が長引き、食生活の変化や活動量の低下、精神的ストレスを抱える区民が増えていると思われるため、心身の健康管理についての啓発が必要である

### 3. 関係団体の取り組み（令和3年度 実績）

（一社）仙台市医師会		
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	<b>【重点分野1】</b> 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	特定健診、基礎健診における問診や健診結果に応じ、生活習慣病等の「疾患」、「メタボリックシンドローム」及び「特定保健指導」に関する判定を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定(身体活動量・食事バランス)し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、登録医療機関ならびに宮城総合支所(集団)において指導した。 生活習慣病予防を図るべく、市民向け広報誌「てとてとて」を発行した。(ケーブルテレビを利用した医療情報番組「家庭の医学」放映および市民を対象にした「市民医学講座」は、新型コロナウイルスの感染状況により開催を見合わせた)
	<b>【重点分野2】</b> 気付き、つながる、 支える心の健康づくり	かかりつけ医の適切なうつ病診療の知識・診断の向上及び、精神科専門医との連携などについて研修会を開催し、うつ病患者の早期発見・早期治療の促進や、自殺予防対策に努めた。同様に病院医療従事者向けの研修会も開催した。 長期にわたる影響が懸念されるコロナ禍に伴う精神保健問題について、複数の視点でアプローチ、共通の課題を明らかにし対策等を検討することを目的に、シンポジウムを開催した。 産婦健康診査については、登録医療機関において産婦のこころとからだの健康状態をチェックし、心身の不調の早期発見に努め、必要な支援につなげた。
	<b>【重点分野3】</b> 健康な心と 身体を支える食生活	(重点分野3・4合わせた形での取り組み) 学童検診(検尿、腎臓病、糖尿病、生活習慣病、貧血、心臓病、脊柱側湾、運動器等)を介して児童・生徒および家族に対し、校医および専門医による食生活・生活改善指導を実施した。
	<b>【重点分野4】</b> 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	また、乳児健診(2か月、4~5か月、8~9か月)、1歳6か月児健診、3歳児健診において乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施した。乳児からのむし歯予防として8~9か月乳児健診を入り口にした、3歳児カリエスフリー85プロジェクトを歯科医師会と共に推進した。
	<b>【重点分野5】</b> 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	禁煙日医宣言と禁煙キャンペーン事業を推進し、世界禁煙デー・宮城フォーラムに参画。
	<b>【重点分野6】</b> 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	各種予防接種の積極的勧奨と、インフルエンザ予防対策ポスターを市内の医療機関へ送付し、こまめな手洗いや咳エチケットの予防対策を啓発した。 各種予防接種の積極的勧奨と、こまめな手洗いや咳エチケットの基本的な予防対策を、日常診療の中で引き続き啓発した。 新型コロナウイルス感染症に関し、仙台市医師会として最新の知見を共有。関連情報を新型コロナウイルス感染症ニュースで配信し、会員を通じて市民にも有益な情報を提供する。また、ホームページにも市民向け専用ページを設けて、引き続き感染予防等を啓発した。 新型コロナウイルスワクチン接種については、仙台市新型コロナウイルスワクチン接種推進室と密に連携し、地域の医療機関での個別接種体制を構築し、医療従事者および市民向け接種に協力した。さらに市が開設する集団接種会場への医師・看護師派遣や、歯科医師会・薬剤師会との三師会による夜間接種(集団接種)に協力した。
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備		
今後の取り組みに向けた 課題等		

(公社) 仙台歯科医師会

<p><b>【重点分野1】</b> 未来の健康をつくる 生活習慣病予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病・骨粗鬆症・睡眠時無呼吸症候群と歯科などに関する医科歯科連携事業の実施</li> <li>・基礎疾患・生活習慣病と歯周病の関連性の啓発と予防・早期発見につながる歯科保健活動</li> <li>・特定健診・保健指導の歯科的項目の追加に対応した体制の整備</li> <li>・がん患者等の周術期口腔機能管理に関する医科歯科連携の充実</li> <li>・口腔がんの早期発見のための啓発講習会の実施</li> </ul>
<p><b>【重点分野2】</b> 気付き、つながる、 支える心の健康づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待防止への歯科的対応</li> <li>・「生きる力を育む教育」を通じた「いじめ問題」に対する歯科的協力</li> <li>・在宅医療等推進のための多職種連携事業への参画</li> <li>・新オレンジプランにおける歯科専門職としての連携</li> <li>・認知症対応力向上に資する歯科専門職の育成</li> <li>・障害者地域支援ネットワーク構築事業への参画（障害のある人もない人も暮らしやすい仙台を目指す条例）</li> </ul>
<p><b>【重点分野3】</b> 健康な心と 身体を支える食生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児期から学齢期においては、食育推進が歯と口の機能の育成に大きくかかわることから仙台市フッ化物歯面塗布助成事業の保健指導・学校での食育推進事業に歯科として積極的に関与する</li> <li>・青年期・壮年期では仙台市成人歯科健診事業における保健指導で間食や甘味食品を含めた正しい食事に関する情報提供を行う</li> <li>・高齢期に関しては、フレイルの出発点ともいわれている「オーラルフレイル」の予防という観点から食事の重要性を考えるべきである。それを踏まえ以下の事業を実施した。</li> <li>・多職種連携という観点から当該会議での情報発信</li> <li>・地域包括支援センター主催の市民啓発イベントでの講話実施</li> </ul>
<p><b>【重点分野4】</b> 生きる力を支える 歯と口の健康づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔癌の早期発見のための啓発講習会の実施</li> <li>・がん患者等の周術期口腔機能管理に関する医科歯科連携</li> <li>・市委託事業 3歳児歯科健康診査・2歳6か月歯科健康診査</li> <li>・保育所定期歯科健康診査及び歯科健康教育</li> <li>・幼稚園における歯科保健活動（園でのフッ化物洗口のさらなる推進に向けた取り組み）</li> <li>・幼稚園・保育所職員対象研修会</li> <li>・小学校就学時健康診断・定期健康診断</li> <li>・学童期のう蝕予防対策の強化（小中学校におけるフッ化物洗口の積極的導入と普及に向けた計画検討）</li> <li>・フッ化物局所応用の推進～フッ化物応用実施医療機関名簿作成等</li> <li>・妊婦歯科健診事業の推進</li> <li>・3歳児カリエスフリー85プロジェクトからリニューアルした仙台市フッ化物歯面塗布助成事業の実施</li> <li>・各ライフステージにおける歯科口腔保健事業のシームレスな連携の実現</li> <li>・宮城・仙台口腔保健センターにて「歯の学校」「歯の大学」（宮歯と共催）を開催</li> <li>・宮城・仙台口腔保健センターにて「県民公開講座」を開催</li> <li>・「歯と健康を守る仙台市民の会」を組織し、市民向け講演会を開催</li> <li>・歯と口の健康週間行事 市民のつどい</li> <li>・仙台歯科医師会ホームページに市民歯科啓発サービスの開設</li> <li>・情報提供～小冊子「スマイル」の発行</li> <li>・各種歯科健診結果データの会報誌を通じての情報提供</li> <li>・「仙台デンタルファミリーボランティアの会」による老健施設での口腔ケア啓発活動</li> <li>・仙台市成人歯科健診（30・40・50・60・70歳歯周病検診・20歳のデンタルケア）実施</li> <li>・仙台市成人歯科健診（歯周病検診・20歳のデンタルケア）の受診率向上および実施年齢の充実化</li> <li>・仙台市成人歯科健診（歯周病検診・20歳のデンタルケア）の未受診者対策の検討</li> <li>・仙台市成人歯科健診（20歳のデンタルケア）の未受診者対策の実施</li> <li>・仙台市職員共済組合歯科検診（35・45・55・60歳実施）</li> <li>・事業所歯科健診における産業保健推進センターとの連携強化</li> <li>・事業所歯科健診（宮城県歯科医師会の要請）</li> <li>・障害者施設訪問歯科健診と関係者協議会</li> <li>・特別支援学校における摂食指導</li> <li>・障害者歯科相談医の研修会と相談医制度の拡充</li> <li>・口腔機能向上のための研修と口腔機能検査の実施</li> <li>・老健施設訪問歯科健診の実施</li> </ul>

重点分野に関する活動・事業等の実施状況

**(公社) 仙台歯科医師会 ※前頁より続き**

重点分野に関する活動・事業等の実施状況	<p><b>【重点分野4】</b> 生きる力を支える 歯と口の健康づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケアセンターの活用と運営の軌道化</li> <li>・口腔ケアセンター事業としての市民啓発講演会の実施</li> <li>・在宅療養高齢者の口腔機能向上に向けた医科歯科連携推進</li> <li>・一般高齢者における介護予防事業（総合事業）</li> <li>・在宅医療等推進のための多職種連携事業への参画</li> <li>・歯科医師の認知症対応力向上のための対策</li> <li>・地域包括ケアシステムにおける多職種連携の中での歯科専門職の役割の充実化</li> <li>・災害時における多職種連携のもと実施される口腔衛生活動体制の充実</li> <li>・食育推進への取り組み</li> <li>・歯と口の健康月間における歯科保健活動（地区歯科医師との連携）</li> <li>・仙台市歯と口の健康週間「市民のつどい」ウェブ開催（新型コロナウイルス対策のため）</li> <li>・仙台市PTAフェスティバルへの参加</li> <li>・認知症フェアなど的高齢者対象のイベントでの口腔機能低下・口腔ケアに関する啓発（仙台市薬剤師会との連携事業含む）</li> </ul>
	<p><b>【重点分野5】</b> 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タバコと歯周病との関係啓発</li> <li>・禁煙対策関連会議への出席</li> </ul>
	<p><b>【重点分野6】</b> 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策関連講習会への出席・情報収集</li> <li>・誤嚥性肺炎やインフルエンザ、COVID19等予防のための感染対策の啓発（歯科的視点から）</li> </ul>
<p>健康づくりを支える 社会環境の改善・整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台福祉プラザに「在宅地域歯科連携室」の設置と介護専門職・地域住民との連携環境の整備</li> </ul>	
<p>今後の取り組みに向けた 課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期いきいき市民健康プラン後期計画を考慮した事業計画の見直し</li> <li>・仙台歯科医師会ホームページによる市民向け歯科啓発サービスの充足</li> <li>・各ライフステージにおける歯科口腔保健事業のシームレスな連携の実現</li> <li>・「かかりつけ歯科医」機能の充実化に向けた市民啓発活動</li> <li>・子育て世代・学齢期の歯と口の健康支援推進に向けての取り組みの検討</li> <li>・3歳児カリエスフリープロジェクトからリニューアルしたフッ化物歯面塗布助成事業実施と充実化</li> <li>・幼稚園：保育所におけるフッ化物洗口実施率向上のための対策の検討</li> <li>・学童期のう蝕予防対策の強化（小中学校におけるフッ化物洗口の積極的導入と普及に向けた計画検討）</li> <li>・妊婦歯科健診の推進</li> <li>・仙台市成人歯科健診（歯周病検診・20歳のデンタルケア）の受診率向上</li> <li>・仙台市成人歯科健診（歯周病検診・20歳のデンタルケア）の未受診者対策対象拡大の検討</li> <li>・特定健診・保健指導の歯科的項目の追加に対応した体制の整備</li> <li>・在宅医療等推進のための多職種連携事業への参画</li> <li>・新オレンジプランにおける歯科専門職としての連携</li> <li>・在宅地域歯科連携室を中心に据えた地域包括ケアシステムにおける歯科サービスの整備</li> <li>・障害者地域支援ネットワーク構築事業への参画</li> <li>・がん患者等の周術期口腔機能管理に関する医科歯科連携の充実</li> <li>・障害者（児）に対する歯科健康診査・保健指導導入の検討</li> <li>・コロナ禍のニューノーマルにおける歯科保健事業推進にかかる実施方法の検討</li> </ul>	

(公社) 仙台市薬剤師会

重点分野に関する活動・事業等の実施状況	<b>【重点分野1】</b> 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	市民健診の受診勧奨：各薬局において市民健診の受診を勧める。また、電子申し込みのお手伝いをする。 各地域での薬と健康相談会は、新型コロナウイルス感染症拡大の為、実施出来なかったが、10月の薬と健康の週間に合わせる形で各薬局で健康講座や健康情報発信を行った
	<b>【重点分野2】</b> 気付く、つながる、 支える心の健康づくり	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う長期自粛生活、休業などによる収入不安定より状態から、うつや自殺者が出ることを想定して、9月と3月を呼びかけ強化月間を定め、各薬局にポスターの掲示とチラシの配布を行った。また、10月に実施された薬と健康の週間では、うつや認知症対応を取り組む薬局も多数あった。今年度も実施予定の地域での相談会等の事業は、実施出来なかった。 組織内では、「うつ初期対応薬剤師」の育成を実施した。
	<b>【重点分野3】</b> 健康な心と 身体を支える食生活	長期自粛による食生活の乱れ、運動不足などからフレイル・サルコペニア予防への啓発活動、実態調査月間を6月と定め各薬局で実施した。また、10月の薬と健康の週間では啓発活動を実施する薬局が多数あり、パンフ、チェック表などを用いて情報発信をした。 11月に開催した市民講座では、フレイル・サルコペニア予防に関する栄養と運動の講座を開いた。 仙台市薬剤師会が認定する「フレイル・サルコペニア予防対応薬剤師」の育成講座を開催した。
	<b>【重点分野4】</b> 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	仙台市と仙台歯科医師会が実施した「歯と口の健康週間 市民のつどい」にビデオを作成し参加した。 感染症対策としての口腔ケアを、「薬と健康の週間」で取り組んだ薬局から発信した。また、学校では同じく感染症対策としての手洗い教室でも口腔ケアについては啓発をした。
	<b>【重点分野5】</b> 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	学校では薬物乱用防止教室に合わせて、防煙教室を実施した。 例年開催している「薬物乱用防止・防煙キャンペーン」は開催出来なかった。
	<b>【重点分野6】</b> 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各薬局に感染初期予防の啓発ポスターを掲示し、チラシを作成して啓発活動を継続的に実施した。 11月の秋の健康フェアでは、正しい手洗い方法の実演、演劇による啓発活動を行った。 学校では、学校保健委員を対象に「手洗い教室」を実施した。
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備	団体としてではなく、地域に密着した薬局として、「薬と健康の週間」への取り組みでは健康情報を積極的に発信した。また、従来通り仙台市が実施している「見守りネットワークへの参加、宮城県、仙台市が実施している「受動喫煙防止宣言施設」へ参加した。 新型コロナウイルス感染症対策としては、手洗い、換気、正しいマスクの着用、三密回避などの啓発とともに、自殺予防への呼びかけ、フレイル予防などの情報を薬局から発信した。	
今後の取り組みに向けた課題等	従来行ってきたイベント型啓発、情報発信の事業は、今後は見直さなければならないが、形態を変えての実施（開催）を検討すると同時に、薬と健康の週間で実施した各薬局での取り組みを充実させるように努める。	

## 全国健康保険協会宮城支部

重点分野に関する活動・事業等の実施状況	<b>【重点分野1】</b> 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者に対して生活習慣病予防健診の受診勧奨を実施：受診率 59.7%（令和4年1月末時点）</li> <li>・被扶養者に対して特定健診の受診勧奨を実施：受診率 27.6%（令和4年2月末時点）</li> <li>・健診結果からリスク保有者に対し特定保健指導を実施：20.8%（令和4年2月末時点）</li> <li>・健診結果から重症領域の高血圧・高血糖未治療者に対する医療機関受診勧奨を実施：受診率13.2%（令和4年1月末時点）</li> <li>・スポーツクラブと連携したヘルスアップ事業により運動習慣の推奨を図った。</li> <li>・健診結果及び問診票から運動習慣が乏しくかつ改善意欲があると思われるもの者に対し、運動の重要性や運動機会の情報提供を行った。</li> </ul>
	<b>【重点分野2】</b> 気付き、つながる、 支える心の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場におけるメンタルヘルス対策支援を希望する事業者に対して、宮城県産業保健総合支援センターが実施しているメンタルヘルスに関する無料相談を案内した。</li> </ul>
	<b>【重点分野3】</b> 健康な心と 身体を支える食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導による食生活改善にかかる指導を実施</li> <li>・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを促進する「職場健康づくり宣言」事業にて、食生活に改善に取り組む事業所の拡大：349事業所（累計1663事業所）</li> </ul>
	<b>【重点分野4】</b> 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当支部広報誌にて宮城県歯科医師会所属の歯科医師より歯科関連の情報提供をいただき掲載した。</li> <li>・事業所向け「歯の健康に関する出前講座」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施に至らなかった。</li> <li>・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを推進する「職場健康づくり宣言」事業にて、歯の健康に取り組む事業所を拡大：20事業所拡大（累計72事業所）</li> </ul>
	<b>【重点分野5】</b> 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県・仙台市・協会けんぽ宮城支部の3者で「受動喫煙防止宣言登録施設」を運用し、受動喫煙防止を推進：22事業所、105施設（累計 526事業所、941施設）</li> <li>・当支部加入者の自主的に健康づくりを推進する「職場健康づくり宣言」事業にて、喫煙対策に取り組む事業所を拡大：270事業所（累計1516事業所）</li> <li>・健診結果及び問診票から喫煙者であってかつ改善意欲があると思われる者に対して、喫煙の危険性、禁煙外来や禁煙サポート薬局などの情報提供を行った</li> </ul>
	<b>【重点分野6】</b> 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを推進する「職場健康づくり宣言」事業にて、感染症予防に取り組む事業所を拡大：352事業所（累計1004事業所）</li> <li>・ホームページ・メールマガジンによる定期的な広報を実施</li> </ul>
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当支部加入事業所の自主的な健康づくりを推進する「職場健康づくり宣言」事業の普及拡大、宣言事業所へのサポートにより事業所における従業員の健康づくりに積極的に取り組む体制の整備を図った。</li> </ul>	
今後の取り組みに向けた 課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当支部は約75万人（うち仙台市在住約26万人）の加入者を抱えており、一人ひとりに対する能動的なアプローチが困難であることから、「職場健康づくり宣言」事業を中心とした事業所との連携による取り組み（コラボヘルス）を中心に推進していきたい。</li> </ul>	

	(公社) 仙台市食品衛生協会	(公社) 宮城県看護協会	
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	飲食に起因する食中毒や感染症の予防に関する啓発事業をおこなった。	① 市民対象に「まちの保健室」を開催し、健康相談や健康チェックによるセルフケアの推進 ・「まちの保健室」3会場（若林区2ヶ所、宮城野区1ヶ所） 15回 延 160人 ② 一般向け広報誌「kangoの広場」にて コロナ禍でもがん検診の重要性の啓発普及
	【重点分野2】 気付き、つながる、 支える心の健康づくり	食品衛生に関する情報発信や相談事業をおこなった。	① 前述「まちの保健室」の定期開催により、安心して話せる場の確保 ② はればれ健康フェスタにおける認知症予防の講話の実施
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活		
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり		
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	営業施設改善に関する事業をおこなった。	・受動喫煙防止施設登録（施設内・敷地内禁煙） ・禁煙フォーラムへの参加 ・禁煙ポスター館内掲示による啓発普及
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	検便および食品検査に関する啓発活動をおこなった。	① 前述「kangoの広場」にてコロナ禍における熱中症予防、ワクチン接種推奨の啓発普及 ② 職場内において毎週、個々の感染対策の徹底の呼びかけ ③ 大規模ワクチン接種センターにおける従事する看護職の確保 ④ 障害者施設・保育所・私立学校等からの新型コロナウイルス感染症に関する相談への対応と感染症認定看護師の派遣
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備			
今後の取り組みに向けた 課題等	食品衛生指導員の活動の輪を広げる取り組み	直接的に市民への働きかけは少ないが、タイムリーな話題を取り上げ、一般市民向け広報誌での啓発普及に努めている。 配布が一部にとどまっているので、より幅広い市民の目に触れるよう配布先等を検討していきたい。	

	宮城労働局	(公財) 宮城県対がん協会	
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	【重点分野1】 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	各労働基準監督署が、事業場に対して、各種健康診断の実施及び実施結果に対する事後措置の実施などについて指導等を行った。	昨年同様に職員全員に定期健診を受診する機会を用意しました。
	【重点分野2】 気付く、つながる、 支える心の健康づくり	各労働基準監督署が、事業場に対して、ストレスチェックをはじめとしたメンタルヘルス対策の推進について指導等を行った。	職員のメンタルヘルス相談窓口の設置と、メンタルヘルス健診を行っています。
	【重点分野3】 健康な心と 身体を支える食生活	各労働基準監督署が、事業場に対して、健康診断結果等に応じた保健指導等の実施について指導等を行った。	塩分を控えたバランスの良い食事と、適切な運動をするよう周知しました。
	【重点分野4】 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	各労働基準監督署が、対象事業場に対して、歯科健診の実施等について指導等を行った。	
	【重点分野5】 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	受動喫煙防止対策助成金の支給等を通じて、受動喫煙対策を推進した。	すでに職場内禁煙とし、職員には勤務中禁煙として厳しく指導しています。
	【重点分野6】 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	当局及び各労働基準監督署が、職場における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の推進等に係る指導等を行った	インフルエンザの予防接種やコロナワクチンの接種を行いました。また、アルコールでの手指消毒、定期的な換気など感染症予防対策に積極的に取り組んでいます。
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備	安全で健康に働くことができる環境づくりに向けて行政を運営している。	検診を受けることの大切さをがん講演会やがん教育等、幅広い方法で伝えています。また、がんを予防するためにも食生活や運動の大切さも合わせて伝えていくようにしています。	
今後の取り組みに向けた 課題等	労働者の健康の確保改善は、地域社会の健康水準と密接にかかわることから、労働行政として職場の安全衛生水準の向上に取り組むとともに、関係機関などとともに本計画と連携して取り組みを推進する。	ホームページ、新聞、TVCMなどによるがん啓発活動・受診率向上の推進。	



	(公財) 宮城県結核予防会	(公社) 宮城県栄養士会	
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	<b>【重点分野1】</b> 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小の事業所を中心とした職域における定期健診の受診率向上の推進</li> <li>・ 肺がん検診の受診勧奨及び受託実施</li> <li>・ 特定保健指導等により身体活動等の生活習慣改善を推進</li> <li>・ 特定健診や基礎健診等の受診勧奨及び受託実施</li> <li>・ 生活習慣病につながるオプション検査の推進</li> </ul>	最新の健康・栄養情報を周知し、健康栄養相談等、実際の体験を通じた普及啓発を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点よりイベントは中止し、生活習慣病予防、フレイル予防リーフレットの配布の実施
	<b>【重点分野2】</b> 気付き、つながる、 支える心の健康づくり	職域におけるストレスチェックの推進及び受託実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長時間勤務労働者等の産業医による面接指導の実施</li> </ul>	健康相談・栄養・心の相談 9回…延20名 病態栄養相談22回…延74名
	<b>【重点分野3】</b> 健康な心と 身体を支える食生活	栄養指導と 特定保健指導等を通し、食生活の改善等の推進	高齢者の健康的な食生活・フレイル予防のための認知症予防体操・ラフターヨガ ①65才以上 42名 ②食生活普及推進室 32名 元気力アップフェスティバル 44名
	<b>【重点分野4】</b> 生きる力を支える 歯と口の健康づくり	特定健診質問票により口腔衛生の必要性・重要性をアピール	フレイル予防の栄養についての動画を作成し、配信
	<b>【重点分野5】</b> 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	喫煙による健康被害等の PR と肺がん検診の受診勧奨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対面及びオンライン診療による禁煙外来の推進</li> <li>・ COPDに関する啓発資料の配布</li> <li>・ 情報掲載パンフレットの配布等による禁煙の推進</li> </ul>	
	<b>【重点分野6】</b> 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結核予防思想の普及啓発、複十字シール運動の実施</li> <li>・ 結核検診及びBCG接種の推進並びに受託実施</li> <li>・ 新型コロナウイルスワクチン接種の推進並びに受託実施</li> <li>・ 他の各種ワクチン接種等の受託実施並びに抗体検査の受託実施</li> <li>・ 夜間休日HIV・梅毒検査の受託実施</li> </ul>	会員一人ひとりが、常に衛生管理を学び、自分の職場から、また、市民から感染症予防対策に努めるようにしている
健康づくりを支える 社会環境の改善・整備		市民の健康づくりのため、認定栄養ケア・ステーションを9か所設けている	
今後の取り組みに向けた 課題等		今後に向けて、コロナ禍により従来の事業継続はむずかしく、いかに市民に啓発できるか、会員一丸となり、市民の健康づくりに力を注いでいきたい	

	(一財) 宮城県予防医学協会	仙台市レクリエーション協会	
重点分野に関する活動・事業等の実施状況	<b>【重点分野1】</b> 未来の健康をつくる 生活習慣病予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診及び特定保健指導の実施</li> <li>・骨密度検査と結果に基づいた生活・食事指導、医療勧奨の実施</li> <li>・健診後保健指導（事後指導）、医療勧奨の実施</li> <li>・健康づくりに取り組む事業所への講師派遣</li> </ul>	昨年同様にイベントをとおした健康づくりの啓発等を目的とした高齢者生きがい健康祭（レクリエーションコーナーの開催）、仙台市民レクリエーションまつり、ニュースポーツ大会等の実施を計画したが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全て中止とした。
	<b>【重点分野2】</b> 気付く、つながる、支える心の健康づくり		
	<b>【重点分野3】</b> 健康な心と 身体を支える食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活に関するポピュレーションアプローチ及び講演会等への講師派遣</li> <li>・健康診断結果通知書の裏面に食生活に関する情報提供</li> <li>・リーフレット、健康情報、レシピの作成と配布</li> </ul>	
	<b>【重点分野4】</b> 生きる力を支える 歯と口の健康づくり		
	<b>【重点分野5】</b> 大切な人の健康を守る たばこ対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内及び営業車内の禁煙実施</li> <li>・喫煙・禁煙に関するリーフレットの作成及び配布</li> <li>・禁煙に関する情報提供</li> </ul>	
	<b>【重点分野6】</b> 日頃から一人ひとりが 取り組む感染症予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の検温・体調管理の徹底</li> <li>・アルコール消毒の徹底</li> </ul>	
	健康づくりを支える 社会環境の改善・整備		
今後の取り組みに向けた課題等	・機関誌、ホームページの充実	重点分野1にかかわる、5区レクリエーション協会横断的なイベント等の開発・実施を検討したい。	